

目 次

本 編

目 次	頁
1 平成 24 年度 図書館基本方針	2
2 平成 23 年度 事業報告	
施策 1 蔵書の充実（収集と保存）	3
(1)平成 23 年度一般書分類別受入冊数と分類別年度末冊数	
(2)平成 23 年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数 (3)平成 23 年度リクエスト購入冊数	
(4)平成 23 年度受入新聞と雑誌等逐次刊行物 (5)平成 23 年度郷土資料の製本数	
(6)平成 23 年度郷土資料保存事業 (7)平成 23 年度外国語図書受入数と年度末蔵書冊数	
(8)平成 23 年度視聴覚資料受入数と年度末数 (9)寄贈資料 (10)平成 23 年度リユース	
施策 2 資料及び情報提供の充実	9
(1)図書等の貸出 (2)調査相談の充実 (3)生活およびビジネス支援の向上	
施策 3 利用者に応じた「よむとす」の推進	12
(1)次世代育成のためのよむとす (2)分館サービスの推進	
(3)障がい者・高齢者サービスの充実 (4)多文化サービスの推進 (5)図書館まつり(第 11 回)	
3 平成 23 年度 主な行事等	24

資 料 編

1 沿 革	27
2 施 設	34
3 職 員	35
4 図書館協議会委員	35
5 利用案内	36
6 予 算	
(1) 当初予算	36
(2) 平成 23 年度 決算額一覧	37
7 図書館貴重資料など	
(1) マイクロフィルム	38
(2) デジタル資料	38
(3) 特殊コレクション	38
8 利用状況	
(1) 貸出年度別統計	41
(2) 飯田市立図書館利用者（貸出者）数推移	42
(3) 飯田市立図書館貸出冊数推移	42
(4) 平成 23 年度 利用が多かった本ベスト 10	43
(5) 利用統計数値（サービス効果）	44
9 図書館関係団体	45

【平成 24 年度 教育方針】

飯田市の教育は、「ムトスの心」と「結いの心」を継承し、「地育力」を向上させ、郷土に愛着と誇りを持って育ち合う、心豊かな人づくりに取り組みます。市民一人ひとりが主人公となり、人と自然が調和する文化の薫りの高いふるさとづくりの教育を推進します。

大人も子どももふるさとを慈しみ、夢をもって共に学びながら生きる力を育む教育を進めます。

【平成 24 年度 図書館 基本方針】

[地域の知の拠点として、市民の生涯学習に寄与]

新サービス計画に掲げた次の二つを基本方針とし、各施策の実現を目指します。

I 暮らしと仕事と地域に役立つ図書館を目指します

II 本と人が出会い、学びが広がる図書館を目指します

施 策	施 策 の 展 開
1 蔵書の充実 (収集と保存)	(1) 図書資料
	(2) 雑誌及び新聞資料
	(3) 郷土資料
	(4) 外国語資料
	(5) その他資料
	(6) 資料の保存及び除籍
2 資料(図書、雑誌等) 及び情報提供の充実	(1) 図書等の貸出
	(2) 調査相談(レファレンス)の充実
	(3) 生活及びビジネス支援の向上
3 利用者に応じた 「よむとす」の推進	(1) 次世代育成のためのよむとす
	(2) 分館サービスの推進
	(3) 高齢者・障がい者サービスの充実
	(4) 多文化サービスの推進

【平成 24 年度 図書館 重点事業】

- (1) 「はじめまして絵本」事業や「読みきかせ・読書案内」などの取組により、親子読書や家庭読書の推進を図り、生涯にわたる読書習慣の形成に寄与する。
- (2) 「キャリア教育」や「ふるさと学習」を支援するため、職業や地元企業に関する図書資料を収集し、学校の求めに応じて資料提供とレファレンスを行う。
- (3) 蔵書検索システムを拡充し、図書館分館の通信網を整備する。
- (4) 郷土の新聞や雑誌などのデジタル化・マイクロフィルム化を進める。

【平成 23 年度事業報告】

施策 1 蔵書の充実(収集と保存)

カウンター等で利用者の資料に対する要望を把握することに努め、様々な分野の図書を収集してきた。図書館に求められる資料は年々多様化してきているが、蔵書にない図書も利用者からの購入希望(リクエスト)を優先して受入することで、その要求に応じている。

また、経済・工業・技術関係の実用書など、「暮らしと仕事」に役立つ資料の収集に力を入れてきたことにより、徐々に蔵書数が増え利用されている。

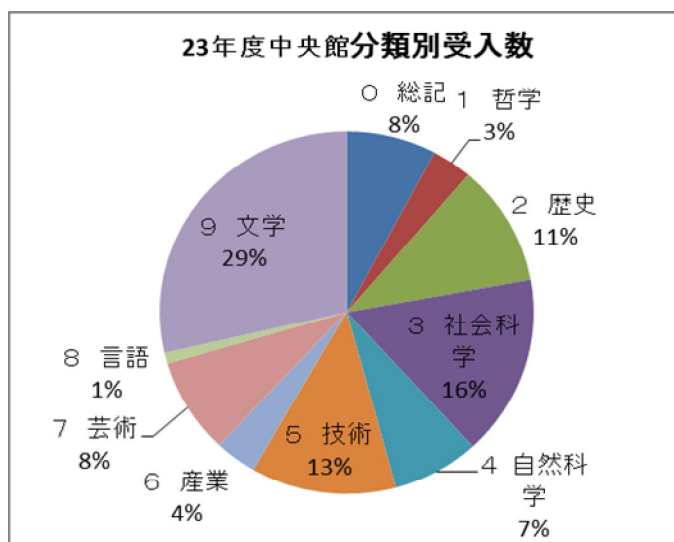
郷土資料については、劣化の激しいものは修理製本や複製製本を行ったり、平成 21 年度、22 年度に引き続き緊急雇用創出事業として県の交付金を受け、地元新聞や郷土雑誌のマイクロ化・デジタル化を実施した。また、伊那谷地名研究会からの寄贈を受け「伊那谷地名コーナー」を開設した。

(1) 平成 23 年度 一般書分類別受入冊数と分類別年度末冊数

①中央図書館一般書 分類別受入冊数と年度末蔵書冊数

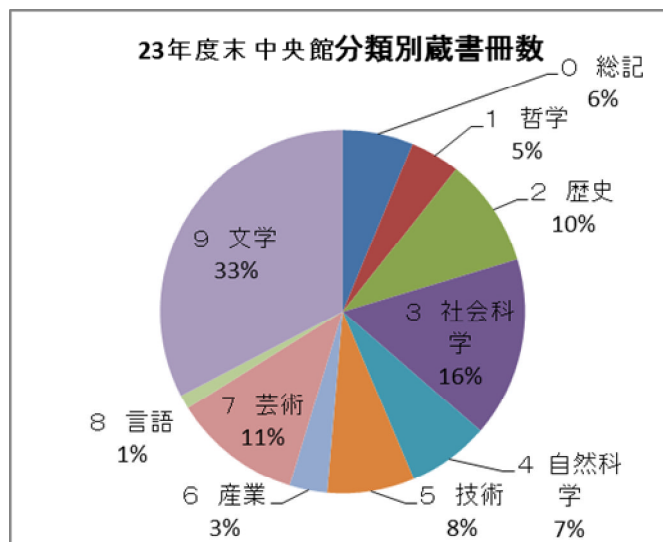
平成 23 年度分類別受入冊数

	冊数	割合
0 総記	482	7.79%
1 哲学	216	3.49%
2 歴史	671	10.84%
3 社会科学	998	16.12%
4 自然科学	465	7.51%
5 技術	779	12.58%
6 産業	222	3.59%
7 芸術	526	8.50%
8 言語	60	0.97%
9 文学	1,771	28.61%
一般書合計	6,190	100%



平成 23 年度末分類別蔵書冊数

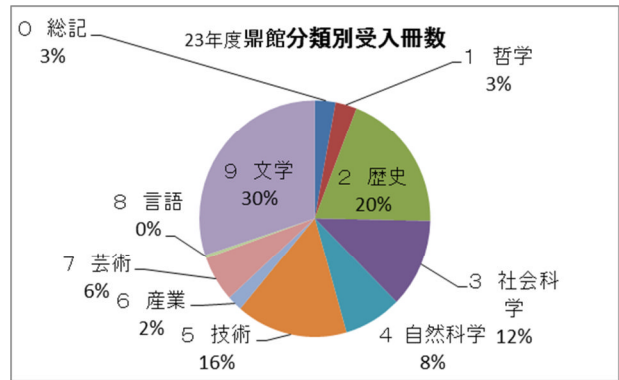
	冊数	割合
0 総記	9,975	6.27%
1 哲学	7,038	4.42%
2 歴史	15,375	9.67%
3 社会科学	25,459	16.01%
4 自然科学	11,512	7.24%
5 技術	12,321	7.75%
6 産業	5,316	3.34%
7 芸術	18,155	11.41%
8 言語	1,963	1.23%
9 文学	51,948	32.66%
一般書合計	159,062	100%



② 県図書館一般書 分類別受入冊数と年度末蔵書冊数

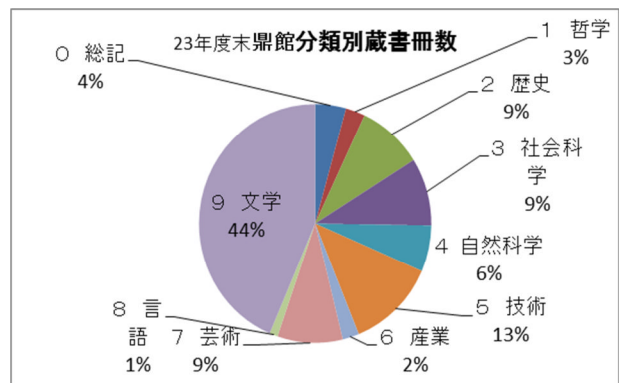
平成23年度受入冊数

	冊数	割合
0 総記	33	2.89%
1 哲学	34	2.98%
2 歴史	222	19.46%
3 社会科学	139	12.18%
4 自然科学	92	8.06%
5 技術	178	15.60%
6 産業	24	2.10%
7 芸術	71	6.22%
8 言語	5	0.44%
9 文学	343	30.06%
一般書合計	1,141	100%



平成23年度末蔵書冊数

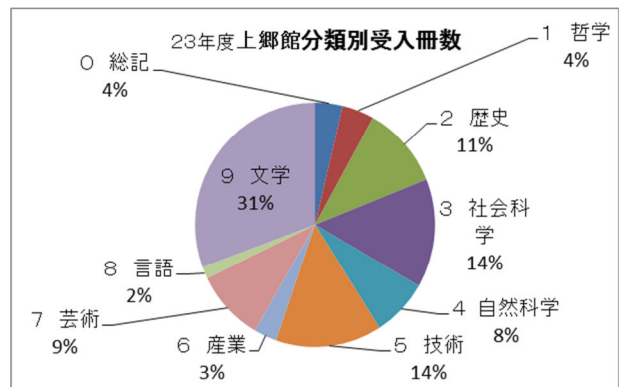
	冊数	割合
0 総記	906	4.28%
1 哲学	573	2.71%
2 歴史	1,926	9.10%
3 社会科学	1,939	9.16%
4 自然科学	1,324	6.26%
5 技術	2,618	12.37%
6 産業	487	2.30%
7 芸術	1,923	9.09%
8 言語	241	1.14%
9 文学	9,227	43.60%
一般書合計	21,164	100%



③ 上郷図書館一般書 分類別受入冊数と年度末蔵書冊数

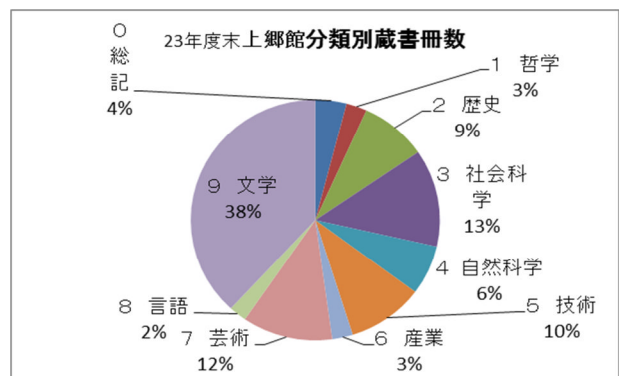
平成23年度受入冊数

	冊数	割合
0 総記	76	3.71%
1 哲学	88	4.30%
2 歴史	224	10.94%
3 社会科学	295	14.40%
4 自然科学	156	7.62%
5 技術	293	14.31%
6 産業	63	3.08%
7 芸術	193	9.42%
8 言語	32	1.56%
9 文学	628	30.66%
一般書合計	2,048	100%



平成23年度末蔵書冊数

	冊数	割合
0 総記	2,905	4.04%
1 哲学	1,933	2.69%
2 歴史	6,265	8.72%
3 社会科学	9,410	13.09%
4 自然科学	4,768	6.63%
5 技術	7,159	9.96%
6 産業	1,930	2.69%
7 芸術	8,434	11.74%
8 言語	1,656	2.30%
9 文学	27,403	38.13%
一般書合計	71,863	100%



(2) 平成23年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数

館名	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代 (内千栄)	龍江	竜丘
受入冊数	438	433	476	402	626	494	367	552	397	747
うち子どもの本	213	199	175	196	337	354	213	347	261	305
除籍冊数	2,241	1,085	3,157	6,606	5,065		6,157	2,216	3,937	2,886
うち子どもの本	860	624	2,407	979	5,002		2,230	1,277	1,242	1,784
保管換等による増減						167				
蔵書冊数	10,417	10,615	10,211	8,370	17,508	10,020	8,652	12,062 (2,451)	9,692	15,921
うち子どもの本	6,016	6,256	6,366	4,768	10,963	6,723	5,491	7,905 (1,897)	6,898	9,219

館名	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	鼎	上郷	中央	合計
受入冊数	353	366	494	680	303	473	3,529	6,122	13,656	30,908
うち子どもの本	164	179	268	309	201	246	964	2,284	1,668	8,883
除籍冊数	3,408	4,224	8,783	111	708	1,638	3,166	1,087	3,067	59,542
うち子どもの本	3,146	997	1,545	79	612	630	782	66	416	24,678
保管換等による増減							△275	△207	△256	
蔵書冊数	10,114	9,745	11,148	21,780	5,397	6,663	55,756	161,716	323,389	719,176
うち子どもの本	6,831	6,401	7,320	12,822	3,087	3,575	22,413	56,046	68,361	257,461

(3) 平成 23 年度リクエスト購入図書冊数

受入館	中央	県	上郷	合計
リクエスト購入冊数	1,772(20.8%)	396(16.7%)	409(9.7%)	2,577(17.0%)
購入冊数	8,501	2,366	4,211	15,078

(4) 平成 23 年度 受入新聞と雑誌等逐次刊行物

	新聞継続受入数	雑誌継続受入数
中央	23 紙	210 誌
県	5 紙	61 誌
上郷	10 紙	80 誌

(5) 平成 23 年度 郷土資料の製本数

複製版製本	25 冊
修理製本	20 冊

(6) 平成 23 年度 郷土資料保存事業 総事業費 7,965,000 円

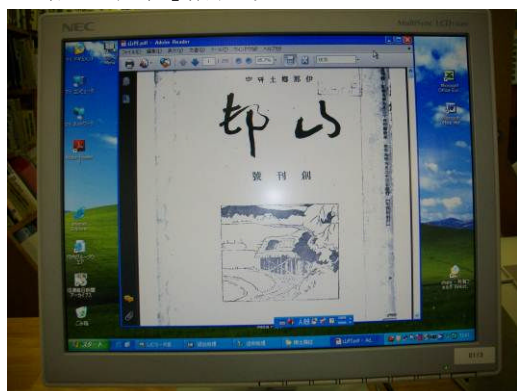
① 郷土新聞のデジタル化・マイクロフィルム化

	デジタル化(頁)	マイクロ化(コマ)	備考
新信州日報 S20.11～S22.9	230	—	マイクロからデジタル化
信州日報 S23.6～S31.8, H21.10～H22.12	8,355	3,128	マイクロ 8 リール
南信日報 S31.9～S39	9,662	—	マイクロからデジタル化
南信州新聞 H21.10～H22.12	4,028	4,044	マイクロ 8 リール
南信新聞 M35～S4	34,188	—	マイクロからデジタル化
合計	56,463	7,172	

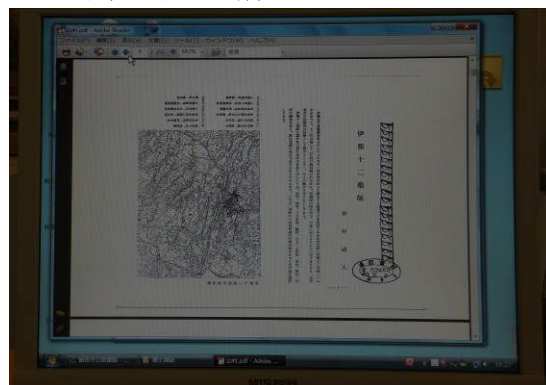
② 郷土雑誌のデジタル化

「伊那」戦前分 他郷土雑誌	67 タイトル	5,102 頁
---------------	---------	---------

雑誌「山村」創刊号



市村威人氏 論文



③青年団資料のマイクロフィルム化

上郷青年団資料	38 リール	16,850 コマ
下伊那連合青年団資料	23 リール	10,057 コマ

(7)平成 23 年度外国語図書受入数と年度末蔵書冊数

		英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	ポルトガル語 スペイン語	その他	合計
23 年度 受入数	中央	11	38	2	0	0	2	6	59
	鼎	0	0	0	0	0	0	0	0
	上郷	22	0	0	0	0	0	0	22
	合計	23	38	2	0	0	0	0	81
23 年度 末蔵書 冊数	中央	1,120	940	72	8	3	259	6	2,408
	鼎	9	0	0	0	0	2	0	11
	上郷	973	9	9	46	17	26	40	1,120
	合計	2,102	949	81	54	20	287	13	3,539

その他…イタリア語・ロシア語・タガログ語

*利用者の要望を受け、中国語の絵本やタガログ語の図書等を収集、提供した。

(8)平成 23 年度視聴覚資料受入数と年度末数

		紙芝居	ビデオ	DVD	マイクロ フィルム	CD	CD- ROM	カセット
23 年度 受入数	中央	31	0	16	75	10	0	0
	鼎	0	0	15	0	1	0	0
	上郷	41	0	1	0	28	0	1
	合計	72	0	32	75	39	0	1
23 年度 末数	中央	1,708	184	150	878	143	5	23
	鼎	712	5	43	0	4	0	0
	上郷	1,909	8	36	0	355	0	1,001
	合計	4,329	197	229	878	502	5	1,024

(9) 寄贈資料

平成23年度 寄贈資料数

館	中央	県	上郷	分館	合計
冊数	2,037	257	724	122	3,140

主な資料

①伊那谷地名資料

平成23年12月、伊那谷地名研究会から伊那谷の地名関係資料（小字図やデータ及び例会資料）33点寄贈を受け、整備し中央図書館の地名関係蔵書と合わせ、24年3月3日中央図書館2階にコーナーを開設した。

今後も同研究会と連携し、資料の収集・提供を行う。



②『復刻日本古典文学館』



元千代田電気株式会社役員筒井正氏(故人)が購入した書籍を、遺族である筒井幸栄さんから平成23年10月寄贈され、12月1日整理が完了した。寄贈内容は、日本の古典の復刻全集『復刻日本古典文学館』第一期及び第二期全166冊(解題含む)。日本書紀など、文学史において重要作品かつ資料的価値の高い写本・伝本を忠実に復刻した作品群である。所蔵館は県内でも数少ない。

③藤本ひとみ氏著作等寄贈

飯田出身の作家藤本ひとみ氏から、郷土における初の講演会(図書館まつり講演会 10月16日)開催を機に、その著作約200冊と図録等を含む蔵書45点を寄贈いただいた。これらの図書等を郷土出身者の著作として受け入れ、10～11月に1階展示コーナーで紹介した。



(10) 平成23年度 リユース

平成23年度の3館リユースでの 還元冊数

館	中央	県	上郷	合計
冊数	9,890	2,207	960	13,057
提供日	毎週木曜日	毎週土曜日	毎月第4土曜日	

施策 2 資料及び情報提供の充実

(1) 図書等の貸出

平成 22 年度より準備してきた南信州図書館ネットワークシステムを構築し、平成 24 年 7 月に稼働させ、円滑な運営をめざしてきた。高森・松川の資料情報も共有でき、利用者の多様なニーズに対応し利便性が拡大してきた。また、書架にある資料の予約も可能となり、資料の有効利用の促進につながってきている。利用者・貸出冊数・予約ともに徐々に伸びつつある。

① 平成23年度 館別利用状況（次ページ資料）

② 分館への予約貸出

貸出冊数 5,445 冊(前年比 97.1%)

③ ネットワーク内自治体間貸出・借受 ()は前年度実績数

	飯田市	松川町	高森町
貸出冊数	4,145 (577)	4,976 (40)	2,549 (25)
借受冊数	6,529 (46)	2,021 (364)	3,120 (232)

④ 相互貸借

	中央	鼎	上郷	計	H22	前年比
貸出冊数	891	13	66	970	1,597	60.7%
借受冊数	795	178	113	1,086	1,379	78.7%

* 貸出の減少要因は、主に南信州図書館ネットワーク間での利用が含まれないため。

* 借受の減少要因は、利用者の転出等がある。

⑤ 予約

		中央	鼎	上郷	分館	計	H22	前年比
予約総件数		23,385	9,686	8,043	4,094	45,208	40,746	111.0%
個人	WEB	7,023	2,711	2,428	—	12,162	6,152	197.7%
	OPAC	3,089	889	2,328	—	6,306	5,425	116.2%
	窓口ほか	9,577	5,392	3,157	—	18,126	18,839	96.2%
団体	窓口ほか	3,696	694	130	—	4,520	4,229	106.1%

* 新システム導入が要因となりWEB上予約が伸びている。

(単位:人・冊)

① 平成23年度 館別利用状況

	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三徳	山本	伊賀良	上村	南信濃	分館計	中央	県	上郷	合計
子ども	292	77	148	176	379	244	41	115	94	433	92	100	162	925	29	13	3,320	4,493	963	1,069	9,845
大人	185	80	126	77	225	170	46	73	99	305	66	70	85	533	48	12	2,200	11,546	1,125	2,284	17,155
団体		1		1	6	6	4	2	15	4	6	10	12	15	3	6	91	151	63	126	431
計	477	158	274	254	610	420	91	190	208	742	164	180	259	1,473	80	31	5,611	16,190	2,151	3,479	27,431
子ども	2,996	728	1,433	1,573	2,682	3,105	638	1,251	816	4,082	1,025	2,262	1,062	6,233	166	546	30,598	17,004	10,284	9,849	67,735
大人	2,286	987	1,418	946	1,737	2,011	557	819	1,002	3,243	873	832	831	4,375	409	330	22,656	78,464	18,873	26,044	146,037
団体		2		3	122	43	46	7	136	9	30	40	142	75	13	10	678	4,397	862	911	6,848
計	5,282	1,717	2,851	2,522	4,541	5,159	1,241	2,077	1,954	7,334	1,928	3,134	2,035	10,683	588	886	53,932	99,865	30,019	36,804	220,620
子ども	8,300	2,029	4,749	5,070	8,975	9,246	1,342	3,229	2,903	16,220	2,800	5,001	3,663	22,324	280	2,063	98,194	93,624	51,109	44,096	287,023
大人	5,240	2,934	4,318	2,660	5,398	5,520	1,413	1,855	2,822	12,569	2,133	2,316	2,418	14,761	585	1,209	68,151	315,057	76,093	98,692	557,993
団体		180		52	2,065	721	339	205	2,536	361	1,219	775	3,226	1,303	266	274	13,522	15,395	5,108	9,385	43,410
計	13,540	5,143	9,067	7,782	16,438	15,487	3,094	5,289	8,261	29,150	6,152	8,092	9,307	38,388	1,131	3,546	179,867	424,076	132,310	152,173	888,426
	登録者(人)																				
	利用者(人)																				
	貸出冊数(冊)																				

⑥ テーマ本の展示

	中央	鼎	上郷	計
資料展示件数	26	24	24	74

(2) 調査相談の充実

システム更新を機に図書館のホームページのリニューアルを行い、各種検索サイト等へのリンク集を作成し、WEB上へのパスファインダーの公開や館内パンフレット架への配置等により、調べものが容易に出来るよう環境を整えている。所蔵資料だけでなく、専門機関や他館から資料の複写を取り寄せるなどして資料提供に努めている。

① レファレンス(調査相談)サービス件数

	中央	鼎	上郷	合計	H22
レファレンス総件数	3,243	816	1,251	5,310	5,935
うち口頭	2,862	742	1,251	4,855	4,949
うち電話	350	70	—	420	414
うちメール・文書	31	4	—	35	42

② 複写サービス

ア 館内資料

	中央	鼎	上郷	合計	H22
件数	2,375	126	398	2,899	2,248
枚数	19,255	469	1,699	21,423	19,504

イ 他館資料

	中央	鼎	上郷	合計
件数	34	0	6	40

③ インターネットによる情報サービス

ア 「よむとす～こんな本いかが～」の掲載

図書館職員による、図書館所蔵のおすすめ本の紹介をしている。月2回の更新。

ホームページでの紹介と合わせ地元新聞でも掲載し、情報発信を行う。

イ 調べものリンク集の更新

利用者が調べものを容易にできるよう、過去のリンク集を整理し、更新した。

ウ 図書館ホームページへの「伊藤大八目録」の掲載

伊藤大八 飯田市(上殿岡)出身

昭和62年11月第1部・第2部の目録が完成し、平成24年3月再整理をし、形を整え広く公開する。

(3) 生活およびビジネス支援の向上

暮らしと仕事に役立つ図書館として、実用書の充実をはかってきており、利用も増えてきている。就労支援の一環として「図書館deジョブカフェ」を継続して開催し、飯伊地域の雇用情勢や就労に役立つ情報を提供している。また、キャリア教育支援として、「職業・資格・仕事の本」リストを作成し各中学校に配布した。特に中学生の職場体験学習の参考としての活用を図っていく。また、小中学生向けの経済講演会を開催した。

- ① 図書館ホームページアクセス数 60,441 件
- ② 中央図書館中二階テーマ展示 6 回
- ③ パスファインダー数 児童 20件 郷土資料 35件
- ④ 講座実績
 - 就労支援セミナー「図書館 de ジョブカフェ」 10月13 日(木) 18:30~20:15
 - ・参加者 8人
 - ・内容 最近の雇用情勢について・コミュニケーション学習とコラージュ作成
- ⑤ キャリア教育
 - 「職業・資格・仕事の本」リストの作成と紹介
 - ・市内各中学校に配布したほか、飯田市立図書館ホームページ・飯田市教育ネットワークへ掲載
 - ・学校貸出用として、リストに掲載した図書の購入
 - 「中学生・高校生のための経済」 12月11日(日) 13:30~15:00
 - ・講師 飯田信用金庫業務部経営相談所長 林 郁夫 氏
 - ・演題 「親子で学ぶ 経済ってそういうこと？」
 - ・参加者 大人9人 高校生3人 中学生4人 小学生1人



中学生・高校生のための経済講演会

図書館deジョブカフェ



施策3 利用者に応じた「よむとす」の推進

(1) 次世代育成のためのよむとす

子どもの活字離れ読書離れが叫ばれるなか、読書の裾野を広げようと様々な事業を行った。その中には、小中学校や高校、子育て支援課など他機関との連携で行った事業や、読みきかせだけでなく、「えほんでビンゴ」など図書館を日常的に活用するきっかけとなる行事も行った。

特記事項としては、はじめまして絵本事業パンフレットの見直しや、小学校3・4年向けおすすめ図書リストの作成、ボランティア育成のための読みきかせボランティア講座入門編の開催がある。

赤ちゃんから高校生まで、一步一步ではあるが、確実に読書の裾野が広がりつつある。

①はじめまして絵本事業

実施会場：飯田市保健センター・松尾公民館・伊賀良公民館・鼎保健センター

【7ヶ月児及び2歳児相談受診人数と受診率】

年度	7ヶ月児相談	2歳児相談
平成23年度	866人(99.3%)	877人(93.1%)

赤ちゃんに絵本を贈ります

♪7ヶ月乳児相談時に贈る絵本♪



いない いない ばあ
松谷みよ子 文
瀬川康男 絵
童心社

子どもが大好きないないいないばあ。ねこさん、くまさん、ねずみさんが、いないいないばあ。親子が楽しく一緒に遊ぶ絵本。



がたんごとん がたんごとん
安西水丸 作
福音館書店

乗せてもらうのはコップとスプーン、哺乳ビン、りんごことバナナ。どれも赤ちゃんになじみのもののほかり。そのたびに発する「がたんごとん」の音が楽しい。



くだもの
平山和子 作
福音館書店

大好きなすいか、もも、ぶどう、なし、りんごなど思わず手が出そうなるほど音やかに描かれています。「さあ、どうぞ」のことばが、心地よくひびきます。

この6冊から1冊お選びください



きゅっきゅっきゅ
林 明子 作
福音館書店

スープをこぼしてしまったぬいぐるみの動物に目をさやましておぼろげです。楽しい表情と、「おいてあげよう、きゅっきゅっきゅ」のことがばが心地よい絵本。



どうぶつのおかあさん
小森 厚 文
数内正幸 絵
福音館書店

動物の母親はどうやって自分の子どもを養いでゆくのでしょうか。子どもたちが好きな動物を12種類登場させ、母が子を連れ歩く姿を生きたきと描いています。



ころころ
元永定正 作
福音館書店

小さな色玉たちがころころと歩きます。階段ころころ、でこぼこ道ころころ、山道ころころ。軽やかな色玉の動きとことばのリズムが楽しい。

あかちゃんといっしょに読みたい本

◆図書館司書と保健師が選びました◆

5ヶ月頃から

書名	著者名(絵)	出版社
いいおかお	瀬川康男	童心社
ばいばい	まついのりこ	偕成社
ごんには	おおともやすお	福音館書店
あがりめさがりめ	いまきみち	福音館書店
どとけっころ よがあげた	ましませつこ	こくま社
がちゃがちゃどんどん	元永定正	福音館書店
ぶーぶーぶー	わきさかかつじ	福音館書店
あがりめさがりめ	ましませつこ	こくま社
あんたがたどこさ	ましませつこ	こくま社

1歳頃から

書名	著者名(絵)	出版社
おさじさん	東光寺 啓	童心社
いただきます	おおともやすお	福音館書店
おつきさまこんばんは	林 明子	福音館書店
おかあさんといっしょ	数内正幸	福音館書店
ぶーぶーじどうしゃ	山本 忠 敬	福音館書店
のせてのせて	東光寺 啓	童心社
おふるでちやぶちやぶ	いゆさきちひろ	童心社
おやすみ	やまわきゆりこ	グランマ社
じゃあじゃあびりびり	まついのりこ	偕成社

本を遊ぶポイント

- ①絵、ストーリーに温かみがあるもの
- ②言葉にリズム感があるもの
- ③ストーリーが単純で、繰り返しの面白さがあるもの
- ④子どもの成長や興味にあっているもの
- ⑤作者名がはっきりかいてあるもの



「がたんごとん がたんごとん」より 安西水丸 作

- ★リズムのある言葉を楽しむ絵本
「がたんごとんがたんごとん」「ころころころ」等
- ★わらべうたの絵本
「いないいないばあ」「あがりめさがりめ」等
- ★身近なものが出てくる絵本
「くだもの」「どうぶつのおかあさん」等
- ★日常生活にそった絵本
「きゅっきゅっきゅ」「おふるでちやぶちやぶ」等

「はじめまして絵本パンフレット」より

②読み聞かせサービス等

	内 容	件数(回)	人数(人)
中央 鼎 上郷	お楽しみ会・おはなし会・行事等	142	2,334
	講座 こどもの本の会・えほんの会	20	207
	幼・保育園読みきかせ	124	3,930
	小学校・児童館読みきかせ	46	1,608
	高校へ絵本講座(下農・女子高・阿智)	3	131
	美博まつり	1	100
	育児サークル・乳幼児学級・親子お楽しみ会等	35	681
3 館	小計	371	8,991
分館	行事等	317	10,302
	合 計	688	19,293



「冬のスペシャルおたのしみ会」
職員劇『ぐりとぐら』(中央)



「新年とくべつおたのしみ会」
鼎小の子どもたちによる紙芝居(鼎)

童話のたのしみ
～小学3・4年生頃に出たい童話のリスト～

その1 童話

少し長い物語が読めるようになった子どもさんにおすすめの童話です。
子ども時代に読んでおきたい童話のリストに追加する、大人の本を参考してあげる
ことなので大丈夫です。少し難しいのは、読んでみてください。

書名	著者	出版社	ISBN	定価
おはなしのろうそく	東京子ども図書館	東京子ども図書館	981-28824	
しゅんしゅん天のめぐみ	松岡幸子	福音堂書店	1914-2777	
グレイブのおはなし	アンソニー・ブリー	福音堂書店	1995-28337	
むしこまのぼうけん	神谷寿子	福音堂書店	1961-2770	
なつめがいのこぼしの話	尾形久二	福音堂書店	1961-2778	
やましの子どもたち	アストリッド・リンデン	福音堂書店	1961-28497	
小さなスズーおばさん	アルフ・ヨハンソン	福音堂書店	1961-28497	
おはまき	幸村理夫	福音堂書店	1961-2771	
おたまき	ロー・ニューフェル	福音堂書店	1970-28313	
おたまき	エドワード・ホルム	福音堂書店	1966-28420	
おたまきのラッパ	尾形久二	福音堂書店	1977-2798	
おたまきのラッパ	ペリ・イヴァリー	福音堂書店	1987-28339	
おたまきのラッパ	アンソニー・ブリー	福音堂書店	2000-28337	
おたまきのラッパ	エスター・アール	福音堂書店	1961-28374	
おたまきのラッパ	松岡幸子	福音堂書店	1971-2777	
おたまきのラッパ	エドワード・ホルム	福音堂書店	1961-28497	
おたまきのラッパ	ウルズラ・ウルム	福音堂書店	1961-28497	
おたまきのラッパ	アストリッド・リンデン	福音堂書店	1961-28497	
おたまきのラッパ	クリム・ファン・ファン	福音堂書店	2004-28387	
おたまきのラッパ	クリム・ファン・ファン	福音堂書店	1970-28314	
おたまきのラッパ	クリム・ファン・ファン	福音堂書店	1970-28317	
おたまきのラッパ	クリム・ファン・ファン	福音堂書店	1961-28497	
おたまきのラッパ	クリム・ファン・ファン	福音堂書店	1961-28497	
おたまきのラッパ	クリム・ファン・ファン	福音堂書店	1961-28497	

『3.4年生向けおすすめ図書リスト』
内容に幅をもたせ、読書力に差がでる
年齢に対応 創作 41冊・昔話 13冊



親への読書啓発講座「えほんの会」(上郷)



絵本カルタの「かるた会」(上郷)



たくさんの絵本に出会える「絵本でビンゴ」(鼎)

③読みきかせボランティア講座

受講者:定員 25 名 修了者 23 名

会場:上郷図書館視聴覚室

テキスト:『えほんのせかいこどものせかい』(松岡享子/著 日本エディタースクール)

受講者のその後の動向:講座修了者 23 名中、15 名が「はじめの一步」というグループをつくり、勉強を続けている。

プログラム

	日 時	内 容
①	10 月 1 日(土)9:30~11:30	・読みきかせボランティアの役割 ・過去の受講者の経験談 ・読みきかせの方法
②	10 月 15 日(土)9:30~11:30	・絵本の選び方①選び方の基本
③	11 月 5 日(土)9:30~11:30	・絵本の選び方②読みくらべ
④	11 月 26 日(土)9:30~13:00	・おはなし会のプログラムのたてかた ・昼食交流会
⑤	12 月 10 日(土)9:30~11:30	・まとめ



講座の様子 受講者の実演

④図書館体験プログラム

図書館と資料を理解してもらうための、図書館体験プログラムを推進する。各種プログラムの体験を通じて、図書館により親しんでもらい、読書を楽しみ、生涯にわたる図書館利用の基礎をつくる。

対 象:小学生・中学生・大学生・一般

(単位:人)

プログラム名	中 央		県		上 郷		合 計	
	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数
資料整理業務体験	7	37	2	7	7	10	16	54
利用サービス業務体験	7	37	2	5	7	10	16	52
図書館利用体験	15	540	58	1,476	9	308	82	2,324
障害者サービス体験	7	37	1	1	0	0	8	38
特殊資料ミニ講座	1	15	0	0	0	0	1	15
子どもの本ミニ講座	0	0	2	46	1	17	3	63
合 計	37	666	65	1,535	24	345	126	2,546



中学生の利用サービス業務体験

(2)分館サービスの推進

昨年から実施してきた分館資料のデータ入力が終了し、16分館合計で約16万冊の資料の登録ができ、発注業務等の円滑化が図られ、併せて大幅な図書整理や配架の見直しを行い、利用者の利便性が向上した。

各館ごとの事業では公民館や地区との共催事業、学校や幼・保育園との連携などを中心に、地域に密着した図書館活動を行った。

①分館資料データ登録件数(H22・23年度)

No.	分館名称	登録終了日時	登録資料件数
1	羽場分館	平成22年12月27日	8,949
2	丸山分館	平成22年12月 7日	9,264
3	東野分館	平成23年 9月 7日	9,491
4	座光寺分館	平成23年 6月17日	7,479
5	松尾分館	平成23年 3月18日	15,889
6	下久堅分館	平成22年11月22日	8,277
7	上久堅分館	平成23年 9月 7日	8,028
8	千代分館	平成23年10月19日	11,363
9	龍江分館	平成23年10月19日	9,020
10	竜丘分館	平成23年 1月25日	13,706
11	川路分館	平成23年10月19日	9,251
12	三穂分館	平成24年 1月18日	9,178
13	山本分館	平成24年 1月25日	10,309
14	伊賀良分館	平成23年 2月23日	19,183
15	上村分館	平成24年 1月26日	4,962
16	南信濃分館	平成24年 2月 6日	6,145
合 計			160,494 件



おたのしみ会（羽場分館）

②各館ごとの事業

* [公]は公民館・地区との共催行事で読みきかせ等をしたもの

* 係会の回数には図書整理、店頭購入等を含みます。

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等 回数		
	回数	日付	内 容	人数	計			
羽 場	17	4/23	こども読書の日	絵本紙芝居の読み聞かせ	13	426	7	
		5/10	0～1歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内	27			
		5/11	3歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内	28			
		5/18	2歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内	45			
		6/25	おたのしみ会	手遊び、読み聞かせ、ゲーム大会	30			
		7/23,27,30、8/3	いいものを作ろう	ミサンガ作り	56			
		11/5,6	文化祭〔公〕	古本市、年間活動記録と写真の展示	107			(土)93人(日)14人
		12/3	クリスマス会〔公〕	手遊び、ブラックシアター、サイエンスマジックショーなど	73			
		1/25,28、2/1,4,8	いいものを作ろう	ハートバスケット作り	47			
丸 山	13	4/30	こども読書の日	読み聞かせ、紙芝居、工作(びゅんびゅんごま)	9	141	11	
		5/17	乳幼児学級〔公〕	乳幼児学級発足会、読みきかせ、図書館案内など	41			
		7/2	七夕お楽しみ会〔公〕	読み聞かせ、パネルシアター、七夕飾り	40			幼児学級と合同
		11/12	文化祭お楽しみ会〔公〕	読み聞かせ、紙芝居、しおりの作成	33			
		1/21	新春カルタ会	カルタ会(方言カルタなど)	18			
		年8回	丸山保育園〔公〕	読みきかせ				
東 野	6	5/14	おはなし会	語り、読み聞かせ、工作(くるくるヘリコプター)	20	205	7	
		5/25	3歳児学級〔公〕	開講式	45			
		7/2	七夕づくり	読みきかせ、七夕飾りづくり	40			
		10/5	動物のお話	動物園勤務の伊藤さんのお話、読み聞かせ	20			
		12/3	クリスマス会	あんさん(人形劇、かみしばい)、清水先生コンサート	60			
		1/28	カルタ会	ジャンボかるた、いろいろなかるた	20			
座光寺	5	4/30	おはなし会		12	124	3	
		7/9	お楽しみ会	読み聞かせ、紙芝居、七夕飾りづくり	10			
		1/21	お楽しみ会	読み聞かせ、万華鏡作り、ホットケーキ作り	27			
		2/4	文化祭〔公〕	古本市	40			
		2/5	文化祭〔公〕	古本市	35			
松 尾	30	4/30	こども読書の日		30	418	6	
		7/9	お楽しみ会	七夕おたのしみ会	46			
		11/5	商工祭〔公〕		大勢			
		12/3	お楽しみ会	クリスマスおたのしみ会	46			
		2/4.5	文化祭〔公〕		200			2日間とも100人以上
		月2回	乳幼児学級〔公〕		96			
下久堅	23	5/14	お楽しみ会	常信院の龍に会いに行こう	24	260	6	子ども14、大人10
		12/17	お楽しみ会	クリスマスお楽しみ会	100			子ども60、大人40
		2/18	お楽しみ会	カレーを作って食べよう	45			子ども30、大人15
		3/4	文化祭〔公〕	展示、廃棄本	91			
		月1回	放課後子ども教室〔公〕	紙芝居と絵本				20～40人
		年7回	乳幼児学級〔公〕					合わせて開館(1時間位)

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等		
	回数	日付	内 容		人数	計	回数	
上久堅	35	4/20	上久堅小	読み聞かせの会	52	496	10以上	
		8/7	夏のお楽しみ会	バスでプロの人形劇を見に行こう	26			
		11/29.30	文化祭〔公〕	クイズ、工作、古本市	60			
		12/7	上久堅小	読みきかせの会	52			
		2/19	冬のお楽しみ会	読み聞かせ、人形劇、カルタ会	42			
		月1回	上久堅保育園	読みきかせの会	264			22人×12
		11月～	1・2年生	授業で来館時に読み聞かせ	8			
		月1回	朝読書	小学校で20分読み聞かせ(1月～)				2学年ずつ
千代	9	4/27	お話会	読み聞かせ	37	241	11	
		4/27	(栄)お話の会	読みきかせ	18			
		5/24	乳幼児学級〔公〕	読み聞かせ	20			
		6/18	お楽しみ会	読み聞かせ、ペープサート	27			
		6/22	(栄)お楽しみ会	読み聞かせ、ペープサート、紙芝居	17			
		10/25	乳幼児学級〔公〕	読み聞かせ、廃棄本配布	19			
		11/6	文化祭〔公〕	飯田女子短生による人形劇、廃棄本配布	46			
		12/3	クリスマス会	ケーキ会食、歌・工作、ジャンボ絵本	57			
		12/17	(栄)クリスマス会	ケーキ会食、歌・クリスマス飾り作り、読み聞かせ	23			
龍江	10	5/7	子ども読書の日		6	327	10	
		7/2	作るお楽しみ会	工作(牛乳パックでトラック)、料理(フレンチトースト・フルーツポンチ)	20			
		7/27	お話の会	中央館矢澤さんによる読み聞かせ	85			
		8/4	人形劇フェスタ	バスツアー(有料公演観劇、プラネタリウム観賞)	28			
		10/5	下沢先生のお話の会		69			
		11/5	お話の会		14			
		12/10	クリスマス会	工作(牛乳パックのおしし)、読み聞かせ	31			
		1/25	いきいき教室〔公〕	工作(牛乳パックのおしし)、読み聞かせ	8			
		2/4	かるた会〔公〕		55			育成会、公民館共催
		3/10	春のお楽しみ会	ジャンボ紙芝居、いっだパペットクラブ	11			
竜丘	16	5/14	お楽しみ会	読み聞かせ、手あそび	10	424	13	
		7/23	七夕まつり	読みきかせ、工作	30			
		11/12	お楽しみ会	てぶくろ人形、紙芝居、工作(おり紙)	63			
		11/11,12	文化祭〔公〕		175			
		11/13	お楽しみ会	工作	49			
		12/10	お楽しみ会	人形劇、読み聞かせ、工作(クリスマスツリー)	72			
		2/4	お楽しみ会	カルタ、百人一首	25			
			参観日開館〔公〕	全9回				
		第2水	竜丘保育園来館〔公〕	貸出、読み聞かせ(5～12月)				
	乳幼児学級〔公〕	読み聞かせ、手あそび						
川路	12	5/21	子ども読書の日	読み聞かせ、むかし話、紙芝居	15	203	10	
		7/27～8/6	七夕かざりをつくろう		30			
		8/5	人形劇観劇ツアー〔公〕	カザフスタンの劇、プラネタリウム	46			
		10/26	川路小学校〔公〕	川路のむかし話(他数回、川路小あり)	15			
		12/10	クリスマス会	読み聞かせ、紙しばい、ツリー作り	46			子ども38、大人8
		2/4	カルタ会〔公〕		38			
		3/31	春休みお楽しみ会		13			
		年5回	乳幼児すくすく学級〔公〕	貸出				

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等			
	回数	日付	内 容		人数		計	回数	
三 穂	60	4/20	保育園図書館探検	お話の会、図書館案内	40	2075	11		
		6/11	お楽しみ会〔公〕	カレーパン作り、読み聞かせ	33				育成会共催
		7/7、1/17	小学校読み聞かせ		170				85人×2回
		8/5	人形劇フェスタ〔公〕	人形劇観劇ツアー	27				
		8/7	夏まつり〔公〕	スイーツデコ	69				育成会共催
		12/3	クリスマス会〔公〕	クリスマスコンサート(平沢見幸さん)、読み聞かせなど	73				育成会共催
		12/20	乳幼児学級〔公〕	クリスマス会	32				
		2/5	文化祭〔公〕	古本市	80				
		3/3	お楽しみ会	マジックショー、読み聞かせ	20				
		毎週水	保育園	来館時読み聞かせ(計40回)	1400				35人×40回
		年3回	いきいきリハビリ〔公〕	お話の会	38				
		年7回	乳幼児学級〔公〕	読み聞かせ	93				
山 本	37	5/21	子ども読書の日	ぼうしすきすき 絵本読み、工作	39	3845	6		
		11/27	文化祭〔公〕	読み聞かせ、風船でつくろう	40				
		12/10	クリスマス会	絵本読み、お菓子の家をつくろう	90				
		年18回	トロの会〔公〕	貸出、読み聞かせ	77				
		年16回	乳幼児学級〔公〕	貸出	60				
				保育園(山本・さくら・久米)・小学校	3539				
伊賀良	28	6/23	三歳児学級〔公〕	おはなし会、図書分館の紹介	60	824	5	子ども28、大人32	
		7/6	お楽しみ会	おはなし会、わらべうたなど(7回実施)	88			子ども65、大人23	
		9/21	一歳児学級〔公〕	おはなし会、わらべうた、手あそび	23			子ども10、大人13	
		10/26	お楽しみ会	おはなし会、手あそびなど(8回実施)	95			子ども68、大人27	
		11/4	二歳児学級〔公〕	おはなし会、わらべうた、手あそび	37			子ども17、大人20	
		11/19,20	文化祭〔公〕	かるた、おはなし会、紙芝居、こまづくり、スタンブラリーなど	378			子ども312、大人66	
		2/15	お楽しみ会	おはなし会、わらべうたなど(8回実施)	121			子ども92、大人29	
		3/7	一歳児学級〔公〕	おはなし会、手あそび、図書分館の紹介	22			子ども9、大人13	
上 村	6	4/20	おはなしの会		17	114	12		
		6/18	季節のおやつづくり	ほうば餅	11				
		8/4	人形劇フェスタ	セントラルパークへ	17				
		11/12	お楽しみ会〔公〕	新そば打ち	22				子ども12、大人5
		1/28	お楽しみ会	親子もちつき大会	17				
		3/3	卒業おめでとう〔公〕	クッキーづくり、味おこわづくり	30				子ども17、大人13
南信濃	10	4/18	お楽しみ会	絵本の読み聞かせ	10	179	6		
		5/14	お楽しみ会〔公〕	絵手紙教室、読み聞かせ	9				
		7/25	お楽しみ会〔公〕	七夕かざりつけ	10				
		7/16	お楽しみ会〔公〕	読み聞かせ、デジカメのとりかた	20				
		8/1、2	お楽しみ会〔公〕	デコスーツ作り	16				
		8/4	人形劇フェスタ〔公〕	フェスタ見学	20				
		10/22	お楽しみ会〔公〕	マスコット作り	10				
		11/19	お楽しみ会〔公〕	読み聞かせ、リース作り	24				
		12/3	お楽しみ会〔公〕	クリスマス会、人形劇	60				

お楽しみ会 回数 317 回

お楽しみ会 人数 10,302 人

(3) 障がい者・高齢者サービスの充実

カセットテープ、DAISY 図書(CD)による録音図書の提供を行い、利用者も DAISY に移行してきている。利用者の高齢化により自館からの貸出数は減少傾向であるが、他館との連携を進め、自館で製作した資料を上田点字図書館を通じ全国の図書館へ提供している。

また高齢者向け講座など、高齢者への読書普及を行った。

① 録音図書貸出タイトル数

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
中央	4,052	3,715	3,128	3,160	3,117
鼎	393	446	507	647	745

② 録音図書相互貸借件数

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
中央	247	314	276	434	317

③ 点字図書相互貸借件数

	中央	鼎
件数	95	108

④ 高齢者向け図書館講座

	中央	上郷	鼎
回数(参加者数)	2回(88人)	2回(28人)	1回(10人)

※中央図書館は橋北公民館高齢者学級等、上郷・鼎は保健課連携のいきいき教室



橋北公民館 北斗のまち さわやか講座

⑤ 障がい者用資料製作状況

(ア) 録音図書製作数

	CD タイトル数	テープタイトル数	テープ本数
中央	91	5	33

(イ) 録音雑誌・新聞等製作数

	タイトル数	CD 枚数	テープ本数
中央	9	144	266
鼎	62	2	66

(ウ) 録音図書蔵書数(平成 24 年 3 月 31 日現在)

	CD タイトル数	テープタイトル数	テープ本数
中央	662	2,823	24,518

(エ) 大活字本蔵書数

	中央	鼎	上郷
冊数	712	139	946

(4) 多文化サービスの推進

多言語版利用案内の更新を行った。英語・中国語の資料が多く利用されており、少数であるがスペイン語・ポルトガル語の資料についての要望もある。

① 外国語図書貸出冊数

	英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	ポルトガル語 スペイン語	その他	合計
中央	548	363	35	0	0	51	6	1,003
鼎	7	1	0	0	0	0	0	8
上郷	117	12	0	0	0	2	0	131
合計	672	376	35	0	0	53	6	1,142

② 利用案内更新

英語、ポルトガル語版利用案内を更新し、利用登録時に配布するとともに、市民課窓口へ配置した。

(5) 図書館まつり(第11回)

実施期間：平成23年5月15日～10月16日

実施会場：中央図書館・鼎文化センター・飯田市公民館

内容と実績：

実施項目	開催日時	内容	当日入場者
文学連続講座 全6回 会場:中央図書館研修室	第1回 5月19日(日) 13:30～15:30	古典、近代、現代そして同時代の文学も、さまざまな先生に講演をしていただき、専門的に教えていただくことで、読書の幅が広がる。 「悲劇の中で、詩を捨てた詩人松岡(柳田)国男」 講師: 中 繁彦先生	54人
	第2回 6月5日(日) 13:30～15:30	「『方丈記』を読む」第1講座」 講師: 吉澤真人先生	61人
	第3回 6月19日(日) 13:30～15:30	「漱石と俳句 ～小さな世界の大きな絆～」 講師: 堀井正子先生	48人
	第4回 7月10日(日) 13:30～15:30	「『方丈記』を読む」第2講座」 講師: 吉澤真人先生	43人
	第5回 7月31日(日) 13:30～15:30	「『源氏物語』 ～女君たちの愛 母として、女として～」 講師: 長沼万里先生	62人
	第6回 8月27日(土) 13:30～15:30	「仮面の真実 ー没後40年・三島由紀夫文学の可能性」 講師: 熊谷裕子先生	36人
映画会「なつかし名画 トククまつり」 (優秀映画鑑賞推進事業) 『雪国』『夜の河』 会場:鼎文化センター	8月28日(日) 13:00～16:40	「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」川端康成の不朽の名作小説を映画化したもので、文芸映画を得意とした豊田四郎が監督。「(雪国)」日本映画にはほとんど登場しなかったタイプの、主体的で知的なヒロインを、伝統的な京染の世界で描き出す。「(夜の河)」	300人 チケット 販売数 448枚
飯田下伊那読書会交流会 会場:中央図書館研修室	9月18日(日) 13:30～15:00	第5回となった今年度は、飯田市で開催された長野県図書館大会・読書会分科会において県下各地より参加の読書会グループと意見交換と交流を行った。	40人
「藤本ひとみ 人と作品について知る会」 会場:中央図書館研修室	9月20日(火) 14:00～16:00	講演会の講師・藤本ひとみの幅広い作品を通して、藤本ひとみにとって「小説を書く」と言うこととはどういうことか、「ふるさと」とはどういう場所かなどについて、事前勉強をした。 参加者全員で作品を群読するなど、人と作品について深く学ぶことができた。	20人
安江リエ・池谷陽子講演会 「暮しの中からうまれる絵本」 会場:中央図書館研修室	9月25日(日) 10:00～12:00	両講師の著作『おたんじょうびがやってくる』は伊那谷の風景がモデルになっており、その取材過程や作成過程について話された。 講演会前には、両講師によるおはなし会が行われ、多くの親子連れが訪れた。絵本作家とふれあえる、貴重な時間となった。	48人

実施項目	開催日時	内 容	当日入場者
特別資料展 「地元新聞でふりかえる、 あの頃の飯田」	10月8日(土) ～10月16日 (日)	飯田には現在『南信州』と『信州日報』というふたつの地域新聞があるが、10万人規模の地方都市に、日刊の地域新聞が二紙あることは、長野県を飛び出し全国的にも稀なことであり、飯田の高い出版文化の顕れであるといえる。 「地域の新聞」にスポットをあて、飯田の新聞が様々な新聞の創刊、廃刊、統合などを経て、現在の二紙体制に至るまでの変遷の歴史を、なつかしい新聞記事とともに振り返った。	193人
展示説明会 会場:中央図書館研修室	10月8日(土) 13:30～14:30		10人
「藤本ひとみ」講演会 「ふるさと飯田で 初めて語る「私と作品」」 会場:飯田市公民館ホール	10月16日(日) 10:30～12:00	著書『幕末銃姫伝』の時代背景などをメインに、幕末に活躍した偉人たちに学ぶ生き方、ナポレオン研究が盛んだった幕末期について語った。 地元で行う初めての講演会ということもあり、多くの入場者があった。終了後、サイン会も行い、大変盛況であった。	310人 チケット 販売数 463枚
合 計			1,177人



藤本ひとみ講演会 10月16日



文学連続講座 6月5日



特別資料展(展示説明会)10月8日



安江リエ・池谷陽子講演会9月25日

平成23年度 主な行事等

	中央図書館	県図書館
4月	婦人文庫文学散歩(4/8) 図書館まつり実行委員会(4/15～) 声のボランティア養成講座(4/23～) 「声の輪」総会(4/28) 図書館見学ツアー(4/30)	子どもの読書週間特別おたのしみ会(4/21)
5月	飯田下伊那図書館協会総会(5/10) 文学連続講座(5/15) 中繁彦先生 追手町小学校読み聞かせ(5/31)	子どもの読書週間特別おたのしみ会(5/14) 県声のボランティア総会(5/14) 小学校おたより発行
6月	追手町小学校読み聞かせ(6/2・6/3) 文学連続講座(6/5) 吉澤真人先生(6/19) 堀井正子先生 図書館まつり実行委員会(6/10) 第1回図書館協議会(6/15) コンピュータシステム更新臨時休館(6/20～30)	森林講座(会場:伊賀良分館6/7) 県声のボランティア利用者交流会(6/25)
7月	婦人文庫豊橋読書会交流会(7/8) 文学連続講座(7/10) 吉澤真人先生 石の不思議講座(7/23) 美博まつり(7/30)ブース出店 文学連続講座(7/31) 長沼万里先生	森林講座(会場:伊賀良分館7/30) 絵本でビンゴ(7月～9月)
8月	人形劇フェスタ ワークショップ(8/6～7) 文学連続講座(8/27) 熊谷裕子先生 図書館まつり映画会(8/28)	
9月	春草を知ろう(9/10・9/16) 文学の名作を読む会・読書会交流会(9/18) 子どもの本研究会安江リエ・池谷陽子講演会(9/25)	
10月	第2回図書館協議会(10/5) ネットワーク会議(10/11) 図書館deジョブカフェ(10/13) 特別資料展「地元新聞で振り返るあの頃の飯田」(10/8～10/16) 展示説明会(10/8)	
11月	第3回図書館協議会(11/1) 追手町小学校読み聞かせ(11/10・11/17・11/18) 図書館まつり実行委員会(11/11)	県小学級招待(11/29・30)
12月	図書館まつり実行委員会(12/2) 声の輪利用者交流会(12/9) 干支の折り紙教室(12/17) 「親子で学ぶ経済ってそういうこと」(12/11)	工作教室「おさるの木くんだり」(12/3) 県小学級招待(12/7・9) 県みつば保育園年長児来館(12月～2月)
1月	スペシャルお楽しみ会(1/28)	幼稚園・保育園・小学校おたより発行 新年特別おたのしみ会(1/21)
2月	第4回図書館協議会(2/1) 図書館まつり実行委員会(2/3) 子ども図書館講座(2/3・2/4) 蔵書点検臨時休館(2/14～2/17) ムトス飯田発表会(2/18)	蔵書点検臨時休館(2/21) 県小学級招待(2/22・2/28)
3月	地名コーナ開設記念講演会(3/3) 「声の輪」三〇周年朗読会(3/11) こまねこ上映会(3/17) 春休み工作教室(3/24)	小学校おたより発行 県小学級招待(3/1・7・13) 県声のボランティア総会(3/17) 春のおはなし会(3/21)
定例行事	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会(毎週土曜) ・7カ月児相談での絵本の話(本庁・伊賀良ブロック) ・2歳児相談での絵本の話(本庁・伊賀良ブロック) ・育児サークル等お話し会(年19回) ・コンピュータシステム定例会(4ヶ月1回) ・朗読奉仕養成講座(月1回) ・婦人文庫運営委員会・読書会各種(月1回) ・子どもの本研究会(月1回) ・「声の輪」学習会(月3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会(毎週土曜) ・親子おたのしみ会(毎月第3木曜) ・7カ月相談での絵本の話(県ブロック) ・2歳児相談での絵本の話(県ブロック) ・県幼稚園(月2回) ・殿岡保育園(年6回) ・県東保育園(年11回) ・県幼稚園親子おはなし会(年2回) ・乳幼児学級・育児サークル等来館・おはなし会(年10回) ・いきいき教室(年1回) ・県声のボランティア研修会等(年6回) ・『としょかんの窓』(月1回発行)

上郷図書館	分館	職員研修
小学校おたより発行 読みきかせボランティア代表者会(4/26)	「子ども読書の日」関連事業各種(4/20～5/21)	市接遇研修(4/20) 3名
子どもの読書週間特別おはなし会(5/11) 読み聞かせボランティア代表者会(5/31) 中学・高校おたより発行	第1回分館長主事会(5/13) 分館蔵書データ入力開始	県初任者研修会(5/12)塩尻 4名 視察研修会(5/15)小布施1名 県公共図書館館長会(5/27)小諸1名
上郷小2年生読書旬間読みきかせ(4回) ポップディアクイズ(7/26～8/21) 地区おたより発行		デイジー信州研修会(6/3)上田1名 県初任者研修会(6/24)県立3名
こわーいお話会(7/20) 小学校おたより発行		豊橋読書会交流会(7/8)浜松2名
人形劇フェスタ ワークショップ(8/7) 読み聞かせボランティア代表者会(8/23)		県大学図書館研修「電子書籍・情報と図書館」(8/30)長野1名
上郷小3年利用体験(4回)		図書館ステップアップ研修(9/12)飯田15名 市職員初任者研修会(9/8～9) 2名 県 読書ボランティア講座(9/30)松本3
読みきかせボランティア講座(10/1・10/15)		児童担当視察研修(10/5)黒姫 1名 障がい者担当視察研修会(10/11) 名古屋ライトハウス 2名 長野県図書館大会(10/22)5名
読書ボランティア代表者会(11/15) 読み聞かせボランティア講座(11/5・26) 上郷小4年調べ学習(4回)	第2回分館長主事会(11/29)	国際子ども図書館児童研修(11/8)1名
読み聞かせボランティア講座(12/10)	南信濃分館で16分館蔵書データ入力完了	法務研修(12/16)
浜井場小読書旬間読みきかせ(6回) 環境展示キャンペーン 小学校おたより発行 カルタ会(1/18)	分館研修会(1/20)	
<読み聞かせボランティア研修会> 東京こども図書館おはなし会(2/3～4) 蔵書点検臨時休館日(2/22～23) 環境キャンペーン		
読みきかせボランティア代表者会(3/2) 女子高2年生絵本講座(3/23) 小学校おたより発行 環境キャンペーン	第3回分館長主事会(3/27)	
<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会(毎週水曜) ・こどもの本の会(年10回) ・えほんの会(年10回) ・7ヶ月相談での絵本の話(上郷・松尾ブロック) ・2才児相談での絵本の話(上郷・松尾ブロック) ・保育園おはなし会 座光寺(年4回) 上郷東(年5回) 上郷西(年6回) 上郷北(年6回) 上郷南(年4回) ・いきいき教室お話し会(年2回) ・育児サークル等お話し会(年10回) ・文章講座(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分館係会(随時) ・各分館おたのしみ会(随時) ・分館だよりの発行(随時) ・公民館との共催行事(随時) ・公民館地区文化祭参加 ・公民館乳幼児学級 ・保育園・小学校おはなし会 ・分館研修会(各分館ごと実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童サービス研修会(随時) ・レファレンス研修会(随時) ・図書館サービス研修会(随時) ・郷土資料研修会(随時)

資料編



「伊那谷に地震はおきるのか？」伊賀良分館講座 平成23年6月7日

1 沿革

(1) 中央図書館

- ・明治34年 飯田小学校内に飯田文庫設立。
旧飯田藩主堀家の蔵書を購入。
- ・大正4年11月10日 公立図書館となる。(町立)
- ・昭和6年7月1日 飯田藩連隊区司令部の建物に移る。
- ・昭和13年 書庫新築。
- ・昭和13年2月11日 長野県知事より表彰される。(館の運営宜しきを得、逐年成績みるものあり云々)
- ・昭和23年6月 附設公民館増築。
- ・昭和31年9月30日 近隣7か村と合併し、当館が本館となり、旧7か村の地区に分館を置く。
- ・昭和36年3月31日 川路村合併。川路分館を加え8分館となる。
- ・昭和38年4月1日 飯田市中央公民館内に分室を設ける。
- ・昭和39年3月31日 龍江村・千代村・上久堅村合併・龍江・千代・上久堅を加え11分館となる。
- ・昭和42年11月1日 羽場地区に羽場分室を設ける。
- ・昭和43年4月1日 羽場分室を分館にし、中央・第一・第二公会堂の3か所で貸出をする。(12分館となる)
- ・昭和45年4月1日 飯田市中央公民館内の分室を廃止する。
- ・昭和46年4月1日 丸山分室を分館にし、飯田農協・滝ノ沢集会所の2か所で貸出をする。(13分館となる)
- ・昭和48年6月1日 丸山分館が飯田農協で貸出をしていたが、これを廃し丸山連合自治会集会所(丸山8区旧消防署分署跡)で貸出することになる。
- ・昭和49年2月27日 児童室・婦人文庫室・会議室(新館)竣工。
- ・昭和53年度 モデル分館事業として「児童向け土曜貸出」を、下久堅(5月)、松尾(7月)、龍江(1月)の3館が実施。
- ・昭和54年度 土曜貸出を羽場・千代・伊賀良分館が実施、計6館となる。
- ・昭和54年4月 羽場分館(公民館)完成。
- ・昭和54年10月28日 全面改築移転のため閉館となる。
- ・昭和55年1月8日 飯田文化会館で仮開館開始。
- ・昭和55年1月 飯田市公民館図書室で土曜貸出を始める。(橋南地域へのサービスのため)
- ・昭和55年3月18日 旧図書館を取り壊す。
- ・昭和55年4月 丸山分館(公民館)完成。
- ・昭和56年3月 飯田市公民館図書室での土曜貸出をやめる。
- ・昭和56年5月15日 市立飯田図書館改築完了。
- ・昭和56年7月3日 市立飯田図書館改築完了竣工式。
- ・昭和56年7月5日 市立飯田図書館新館開館。
- ・昭和57年度 座光寺・竜丘・川路・山本土曜貸出実施。
- ・昭和59年4月 千栄で土曜貸出実施。
- ・昭和59年12月1日 鼎町合併、飯田市立鼎図書館となる。
- ・昭和60年4月1日 東野分館(公民館)完成。
- ・昭和60年6月1日 東野分館開館、土曜貸出実施。
- ・平成3年6月15日 本館、ヤングアダルトコーナー開設。
- ・平成5年7月1日 上郷町合併、飯田市立上郷図書館となる。
合併により、市立飯田図書館を飯田市立中央図書館と改称。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成9年2月25日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。(NEC:LiCS-N)
- ・平成10年3月31日 「飯田市立中央図書館漢籍目録」刊行される。
- ・平成12年8月 「かこさとしの世界」展 開催される。
- ・平成13年2月 空調施設改修工事着工。同6月稼働(繰越明許事業)

- ・平成 15 年 6 月 かこさとし作『だるまちゃん・りんごんちゃん』出版される。
- ・平成 16 年 7 月 22 日 コンピュータシステム更新、稼働。(NEC : LiCS-RⅢ)
図書館ホームページ開設、インターネット蔵書検索開始。
- ・平成 16 年 9 月 インターネットによる予約受付開始。
- ・平成 17 年 10 月 上村・南信濃村合併、上村分館・南信濃分館となる。
- ・平成 18 年 4 月 20 日 伊賀良学習交流センター竣工、同施設内に伊賀良分館を移転。
- ・平成 18 年 4 月 29 日 中央図書館で祝日開館を本格実施。
- ・平成 18 年 8 月 25 日 ビジネス支援開始。
- ・平成 19 年 1 月 夜間開館試行。
- ・平成 19 年 3 月 10 日 市岡文書及び古書・飯田文書・村沢資料目録をWeb上公開。
- ・平成 19 年 5 月 繰り下げ開館試行。
- ・平成 19 年 9 月 毎週木曜日繰り下げ開館 12:00～20:00 開館実施。
- ・平成 20 年 4 月 毎週木曜日 10:00～20:00 開館実施。
- ・平成 23 年 3 月 耐震改修工事竣工 (休館 10 月 18 日～11 月末)。
- ・平成 23 年 12 月 27 日 図書館ネットワークに関する定住自立圏形成の追加協定を松川町・高森町と締結。
- ・平成 23 年 7 月 1 日 コンピュータシステム更新、稼働。(NEC : LiCS-Re)
南信州図書館ネットワークを松川町図書館・高森町立図書館と運用開始。

(2) 地域館

① 県図書館

- ・明治 43 年 12 月 7 日 開庫式を行い、青年会が管理、運営を行う。
- ・大正 12 年 7 月 26 日 県より私立図書館として認可される。
- ・昭和 25 年 7 月 公民館図書部として運営される。
- ・昭和 35 年 1 月 旧自治警察署跡へ移転して独立の図書館となる。
- ・昭和 38 年 4 月 1 日 司書 1 名を配置して昼間開館を行う。
- ・昭和 54 年 10 月 27 日 旧自治警察署跡へ図書館改築。
- ・昭和 59 年 12 月 1 日 飯田市と合併、飯田市立県分館となる。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 職員 2 名と土・日パート職員を配置して本館と同じ運営を行う。
- ・平成 5 年 7 月 1 日 上郷図書館と同列の飯田市立県図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。
- ・平成 11 年 12 月 21 日 共生のまち推進事業実施 (障害者対応施設整備)

② 上郷図書館

- ・大正 11 年 4 月 1 日 上郷青年会は上郷文庫設置を決定。
- ・大正 12 年 10 月 10 日 上郷青年会は小学校の一室を借りて上郷文庫を開館。
- ・昭和 2 年 7 月 18 日 文庫を小学校より信用組合に移転。蔵書 675 冊。
- ・昭和 10 年 11 月 22 日 図書館経営と山林経営の協力が認められ、上郷青年会は文部大臣表彰を受ける。
- ・昭和 11 年 7 月 21 日 下黒田に独立図書館建設、開館式。
- ・昭和 15 年 2 月 11 日 優良図書館として県知事表彰。
- ・昭和 16 年 7 月 12 日 上郷青年会図書館を村立上郷図書館へ移管式。
- ・昭和 21 年 7 月 1 日 図書館の一部を改装、国保直営の上郷診療所を併設。
- ・昭和 25 年 9 月 1 日 診療所は高松病院 (現ゆうゆう) の位置に移転。
- ・昭和 31 年 7 月 1 日 図書館へ専任職員を置く。
- ・昭和 37 年 1 月 6 日 全日開館を開始、土・日を除き午前 10 時から午後 5 時まで。専任職員を 1 名増員。
- ・昭和 39 年 11 月 1 日 上郷村民会館落成にて図書館移転、一階の 3 室を占める。旧図書館は公民館下南分館として払い下げる。
- ・昭和 42 年 4 月 1 日 専任図書館長を置く。夜間開館の係として青年会員の奉仕を受け

- ・昭和 58 年 10 月 る。
是枝英子著『知恵の樹を育てる-信州上郷図書館物語-』出版される。
- ・昭和 60 年 4 月 28 日 現図書館開館式。5 月 2 日竣工式。総経費 2 億 7 千万円。(敷地費含む)
- ・平成 5 年 7 月 1 日 飯田市と合併。飯田市立上郷図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピューターシステム稼働による貸出はじまる。

(3) 分館

① 座光寺分館

- ・明治 36 年 4 月 23 日 青年団は文庫創立資金を村内より募り、文庫規則をつくる。
- ・明治 36 年 10 月 1 日 文庫を「座光寺文庫」と命名し小学校に設置。開庫式を開く。
- ・明治 37 年 10 月 10 日 「座光寺文庫」を「麻績文庫」と改名。
- ・大正 3 年 巡回文庫開設。
- ・大正 14 年 明治 27 年創立の「女子同窓会文庫」と合併する。
- ・昭和 8 年 11 月 4 日 「麻績文庫」規則を改正する。
- ・昭和 14 年 1 月 30 日 社会情勢に対処し、読書機関の重要性を認め、青年団に図書部を新設し、文庫を改革し、文庫の整理をする。
- ・昭和 14 年 3 月 11 日 国立図書館長・松本喜一氏視察する。
- ・昭和 14 年 3 月 19 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き文庫の経営及び製本法の指導を受ける。
- ・昭和 25 年 「麻績文庫」を「座光寺図書館」と改名する。
北部地区 5 か村(座光寺・上郷・市田・山吹・大島)にて図書館協会をつくる。
- ・昭和 31 年 青年団は図書館財産を村当局に寄付し、公民館図書部として運営する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により市立飯田図書館座光寺分館となる。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

② 松尾分館

- ・大正 12 年 12 月 皇太子成婚記念事業として、従来の青年文庫・児童文庫を統一して村立図書館の設立を計画し、村費 300 円を計上する。
- ・大正 13 年 1 月 26 日 「村立松尾図書館」開館式を行う。書籍数は児童文庫 671 冊、普通文庫 575 冊。以来館長には村長、副館長には小学校長、事務員には小学校教員があたり、図書館は小学校の建物の中にあり、学校にて運営する。
- ・昭和 21 年 図書館を公民館附属建物に移し、青年会が運営する。
- ・昭和 23 年 4 月 図書館が公民館に所属し、公民館図書部にて運営する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館松尾分館となる。
- ・昭和 53 年 7 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 2 年 4 月 14 日 公民館の新築に伴い同館内に分館を併設し毎週土曜日、水曜日、第 2・第 4 日曜日に開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

③ 下久堅分館

- ・大正 13 年 4 月 下久堅巡回文庫として発足。
- ・昭和 4 年 当時の青年会が中心となって、小学校内に村立図書館を設立。
- ・昭和 12 年 村役場へ移転。
- ・昭和 16 年 小学校へ移転。

- ・昭和 23 年 下久堅公民館設立と同時に公民館図書部へ移管。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館下久堅分館となる。
- ・昭和 44 年 2 月 20 日 新館落成。(公民館内に併設) 開館。
- ・昭和 53 年 4 月 15 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 53 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

④ 上久堅分館

- ・昭和 25 年 4 月 1 日 上久堅公民館が設置されると、図書部として発足する。青年団の文化部が管理する。
- ・昭和 32 年 4 月 1 日 公民館図書部が管理する。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 上久堅村は飯田市に合併し、飯田市立図書館上久堅分館となる。
- ・昭和 41 年 11 月 上久堅公民館の一室を図書館とする。
- ・昭和 56 年 4 月 1 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 元年 1 月 分館の部屋を改築し広める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 15 年 5 月 7 日 健康相談室へ図書室を移転。

⑤ 千代分館

- ・明治 27 年 千代小学校職員及び青年会有志により、千代小学校内に「千代文庫」を創立。
- ・大正 2 年 1 月 30 日 「千代文庫」を千代青年会に管理委託。
- ・大正 12 年 4 月 1 日 御成婚記念として「村立図書館」を設立し、前者を移管。(独立施設としての図書館ではなかった)
- ・昭和 12 年 7 月 9 日 村出身、島岡亮太郎氏の寄贈により木造 2 階建 1 棟 (4 間×6 間、階段便所つき) の独立図書館を建築。名称「村立千代図書館」として発足。後、館内に「二宮報徳文庫」「児童文庫」「忠勇文庫」を特設。
- ・昭和 14 年 2 月 11 日 県下優良図書館として県知事表彰を受ける。
- ・昭和 23 年 4 月 1 日 千代公民館が管理にあたる。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 千代村は飯田市に合併し、飯田市立図書館千代分館となる。
- ・昭和 52 年 6 月 19 日 小学校体育館建設のため取り壊し、小学校内の一部を仮分館とする。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 55 年 4 月 基幹集落センターの一室を図書館とし、開館する。
- ・昭和 59 年 4 月 千栄で土曜貸出を実施する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑥ 龍江分館

- ・昭和 23 年 龍江公民館が設置されると図書部として発足する。図書室を村役場内に置く。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 龍江村は飯田市に合併し、飯田市立図書館龍江分館となる。
- ・昭和 39 年 7 月 龍江支所事務室を半分仕切り、その半分を図書室とする。
- ・昭和 54 年 1 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 54 年 職場団体貸出文庫を始める。
- ・昭和 59 年 3 月 12 日 公民館の新築にともない同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑦ 竜丘分館

- ・大正 9 年 9 月 青年の手により竜丘小学校内に竜丘文庫を設立し、青年会が管理

- ・昭和 2 年 各部落に独立文庫ができる。竜丘処女会文庫ができる。
- ・昭和 4 年 2 月 1 日 竜丘分庫、処女会文庫を統合して竜丘図書館を設立する。
- ・昭和 12 年 1 月 26 日 村立図書館となる。
- ・昭和 19 年 12 月 20 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き、読書講習会を開く。
- ・昭和 21 年 3 月 マッカーサーの命により軍事関係の図書約 400 冊を廃棄する。
- ・昭和 23 年 公民館が設置され、公民館図書部となる。
- ・昭和 24 年 7 月 旧竜丘電気組合事務所を買収し、図書館に改造する。
- ・昭和 25 年 10 月 24 日 創立 20 周年記念を兼ね開館式を行う。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村合併により、飯田市立図書館竜丘分館となる。
- ・昭和 51 年 4 月 1 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 13 年 5 月 5 日 公民館の新築に伴い同建物内に併設し開館する。
(公民館の中心施設として設置)

⑧ 川路分館

- ・大正 14 年 小学校内に図書室を設置。
- ・昭和 17 年 3 月 村立川路図書室となる。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 川路村は飯田市に合併し、飯田市立図書館川路分館となる。
- ・昭和 36 年 6 月 27 日 大水害にて蔵書が全部水に浸り、廃棄する。
- ・昭和 41 年 4 月 1 日 飯田市役所川路支所の一室を図書館とする。
- ・昭和 57 年 3 月 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し、開館。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑨ 三穂分館

- ・明治 29 年 三穂親友会創立。
- ・明治 38 年 日露戦争並びに親友会創立 10 周年記念事業として親友文庫を創設。
- ・大正 11 年 親友会文庫を三穂小学校に移管。
- ・大正 15 年 当時すでに誕生していた三穂青年会部落文庫を統合して村立図書館とする。同時に青年会が運営する。
- ・昭和 22 年 5 月 村立図書館を公民館に移管し、公民館図書部として発足する。
- ・昭和 26 年 部落巡回文庫開設。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館三穂分館となる。
- ・昭和 56 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 59 年 1 月 23 日 公民館の新築に伴い、同建物内に分館を開設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑩ 山本分館

- ・大正 11 年 各部落の青年会図書をまとめ、役場の 2 階に図書室が設けられる。運営は青年会があたる。
- ・昭和 2 年 山本小学校校庭の一隅の建物に「山本青年会図書室」を設立する。工費 740 円。
- ・昭和 26 年 山本公民館図書部へ移管。この時、青年学校図書もここへ移して一本化する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館山本分館となる。
- ・昭和 35 年 7 月 20 日 山本支所の裏手に倉庫を改造し更に増築。ここに図書館を移す。
- ・昭和 49 年 5 月 11 日 公民館を新築し、その一室を図書館分館とする。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。

- ・平成 6 年 4 月 9 日 公民館の新築に伴い、別棟に図書館を併設しオープンする。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑪ 伊賀良分館

- ・昭和 15 年 1 月 15 日 伊賀良青年団新年総会において、図書館の建設を決議。
- ・昭和 15 年 2 月 北方・赤間栄吉氏の建築寄附により公会堂を改造して利用することとなる。敷地として村役場付近大平田所有を買収。
- ・昭和 15 年 2 月 27 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏来村し設計指導する。設計者・木下作治氏。
- ・昭和 25 年 1 月 青年団は図書館が狭くなったので新築の計画を立て、資金の積み立てを計画する。以後毎年 5,000 円ないし 10,000 円の積み立てをする。
- ・昭和 27 年 伊賀良公民館図書部となる。ただし、運営は青年団があたる。
- ・昭和 29 年 再び伊賀良青年団図書部となる。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館伊賀良分館となる。
- ・昭和 35 年 新築することに決定、予算 85 万円。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 新築する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 63 年 4 月 9 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 63 年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 18 年 4 月 22 日 伊賀良学習交流センター竣工に伴い、同館内に分館を移転してオープン。
- ・平成 19 年 6 月 開館日を拡大、火曜日と木曜日の午後も開館。
- ・平成 22 年 9 月 木曜日午前中開館

⑫ 羽場分館

- ・昭和 42 年 11 月 1 日 羽場地区に羽場分室を設置。
- ・昭和 43 年 4 月 1 日 羽場分館となり、中央・第 1・第 2 公会堂の 3 か所で貸出をする。
- ・昭和 54 年 3 月 27 日 公民館の新築に伴いその一室を図書館分館とし、中央公会堂は閉鎖する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 58 年 4 月 土曜貸出に大人も含める。
- ・平成 元年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 10 年 10 月 公会堂の改修に伴い、羽場大休の第一分室を閉鎖する。
- ・平成 12 年 3 月 羽場大通りの第二分室を閉鎖する。

⑬ 丸山分館

- ・昭和 45 年 4 月 1 日 丸山地区に分室を設置、飯田農協・滝ノ沢集会所の 2 か所で貸出をする。
- ・昭和 46 年 4 月 1 日 丸山分館となり、飯田農協・滝ノ沢集会所の 2 か所で貸出をする。
- ・昭和 48 年 6 月 1 日 飯田農協を廃し、丸山連合自治会集会所で貸出をする。
- ・昭和 49 年 7 月 20 日 丸山公民館の一室にて貸出をする。
- ・昭和 55 年 4 月 丸山公民館（全面改築）完成、図書室にて貸出をする。
- ・昭和 56 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 58 年 7 月 16 日 丸山連合自治会集会所での貸出を止め、新たに丸山児童館で貸出し、土曜貸出も児童館で行う。
- ・平成 元年 2 月 丸山児童館での貸出を止め、丸山公民館で土曜貸出を始める。
- ・平成 2 年 滝の沢集会所（新築）滝の沢分室
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

- ・平成 15 年 3 月 31 日 滝の沢分室を閉鎖する。

⑭ 東野分館

- ・昭和 60 年 4 月 1 日 東野公民館の 2 階一室に東野分館を設置する。
- ・昭和 60 年 6 月 1 日 開館、土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑮ 上村分館

- ・平成 17 年 10 月 1 日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館上村分館となる。
- ・平成 22 年 9 月 土曜日開館を第 2・第 4 の 10 時～12 時と改める。

⑯ 南信濃分館

- ・平成 17 年 10 月 1 日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館南信濃分館となる。
- ・平成 18 年 10 月 1 日 定期開館開始。

(4) 飯田図書館 歴代館長

	氏名	兼務／専任	在任期間
初代	掛川 良平	兼務	大正 4. 11～昭和 6. 3
第二代	両隈 喜重	兼務	昭和 6. 4～昭和 13. 3
第三代	本堂 順一	兼務	昭和 13. 4～昭和 22. 3
第四代	伊藤 兵三	専任	昭和 22. 7～昭和 24. 3
第五代	小林 保一(郊人)	専任	昭和 25. 3～昭和 26. 9
第六代	本堂 順一	兼務	昭和 26. 10～昭和 27. 3
第七代	池元 威男	専任	昭和 27. 4～昭和 31. 3
第八代	松澤 太郎	兼務	昭和 31. 4～昭和 39. 3
第九代	高堂 正男	兼務	昭和 39. 4～昭和 40. 3
第十代	池田 寿一	専任	昭和 40. 4～昭和 51. 3
第十一代	林 正敏	専任	昭和 51. 4～昭和 55. 3
第十二代	今村 兼義	専任	昭和 55. 4～平成 6. 3
第十三代	代田 一行	専任	平成 6. 4～平成 10. 3
第十四代	福澤 善紀	専任	平成 10. 4～平成 12. 3
第十五代	岡田 昌伸	専任	平成 12. 4～平成 17. 3
第十六代	稲吉 憲一	専任	平成 17. 4～平成 18. 3
第十七代	仲平 和夫	専任	平成 18. 4～平成 22. 3
第十八代	牧内 和人	専任	平成 22. 4～

2 施設

(1) 中央図書館 (TEL 0265-22-0706・FAX 0265-22-0235)

・敷地	飯田市追手町2丁目677番地3	面積	1,625.47 m ²
・建物	鉄筋コンクリート3階建		
	建築面積 1,014.28 m ²	延床面積	2,507.63 m ²

(2) 地域館

鼎図書館 (TEL 0265-23-9901・FAX 0265-23-9908)

・敷地	飯田市鼎中平2246番地	面積	1,117 m ²
・建物	木造平屋建		268.30 m ²

上郷図書館 (TEL 0265-52-2551・FAX 0265-52-2574)

・敷地	飯田市上郷黒田442番地1	面積	1,249.83 m ²
・建物	鉄筋コンクリート2階建		
	建築面積 581.89 m ²	延床面積	1,117.31 m ²

(3) 分館

分館名	独立・併設	面積(m ²)
座光寺	座光寺公民館内	53.00
松尾	松尾公民館内	101.68
下久堅	下久堅公民館内	78.00
上久堅	上久堅農村環境改善センター内	36.45
千代	千代基幹集落センター内	77.90
	毛呂窪公民館(千栄分室)	
龍江	龍江公民館内	77.49
竜丘	竜丘公民館内	136.80
川路	川路公民館内	49.56
三穂	三穂多目的研修センター内	63.18
山本	山本公民館内	90.72
伊賀良	伊賀良学習交流センター内	299.95
羽場	羽場公民館内	58.59
丸山	丸山公民館内	61.20
東野	東野公民館内	78.00
上村	かみっこ交流館内	162.75
南信濃	南信濃学習交流センター内	40.00
16分館・1分室		合計 1,465.27 m ²

{ 内お話の部屋 28 m²
 内書庫 7.2 m²

(4) コンピュータシステム

平成23年7月1日 新システム導入・南信州図書館ネットワーク運用開始。

- ・参加自治体: 飯田市・松川町・高森町
- ・新システム: NEC LiCS-Re(リッチクライアント型システム)
- ・MARC: TRC MARC Tタイプ(図書館流通センター)

©南信州図書館ネットワーク構築及び運用について、ネットワーク会議を開催し、連絡調整を密に行った。(稼働前5回、稼働後5回)

3 職 員 （平成 24 年 4 月 1 日現在）

(1) 中央図書館

- ・正規職員 7 人（司書資格者 6 人）
- ・臨時職員 8 人（司書資格者 8 人）
- ・パート職員 4 人が交代勤務（木・土・日曜日雇用）

(2) 県 図書館

- ・正規職員 3 人（司書資格者 2 人）
- ・パート職員 2 人が交代勤務（土・日曜日雇用）

(3) 上郷図書館

- ・正規職員 3 人（司書資格者 3 人）
- ・臨時職員 2 人（司書・司書教諭資格者 2 人）
- ・パート職員 1 人（土・日曜日雇用）

(4) 分館（16 館）

- ・分館長 16 人
- ・分館主事 16 人（公民館主事が兼務）
- ・分館係員（パート職員）
96 人が交代勤務（主に水・土・日曜日）

4 図書館協議会委員 10 名（男性 5 人、女性 5 人）

(1) 設置根拠

図書館法第 15 条・飯田市立図書館条例第 5 条の規定により図書館協議会を置く。

(2) 任 期：2 年

(3) 任 務：図書館の運営に関し、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なうサービス業務につき館長に意見を述べる。

(4) 平成 23 年度の主な協議事項

第 1 回 6 月 16 日 22 年度事業報告・23 年度運営方針及び事業計画
飯田市立図書館サービス計画策定について 他

第 2 回 10 月 5 日 飯田市立図書館サービス計画（案）について（諮問）

第 3 回 11 月 1 日 飯田市立図書館サービス計画について（第 1 次答申）

第 4 回 2 月 1 日 飯田市立図書館サービス計画について（第 2 次答申）

(5) 図書館協議会委員（平成 24 年度）

会長 松島 タセ子 副会長 久保田 雅子

今井 俊文 大石 順子 加藤 静夫 下平 光紀

平岩 宏保 松下 敏子 松本 慶一 矢澤 朱美

5 利用案内

(1) 中央図書館・地域館

- ① 開館時間 午前10時～午後6時
※中央図書館は、木曜日(祝日を除く)のみ夜8時まで開館
- ② 休館日 毎週月曜日・毎月第4金曜日・年末年始(12/28～1/4)
※祝日は県・上郷図書館のみ休館(中央は月曜以外の祝日は開館)
- ③ 館内閲覧 開館時間内は誰でも自由に閲覧できる
- ④ 館外貸出 飯田・下伊那地区に在住または通学、通勤している方
※中央・地域館 1人10冊 分館 1人4冊 貸出期間 2週間

(2) 分館

【伊賀良分館】

火・水・日曜日：午後 1時～5時
木・土曜日：午前10時～午後5時

【松尾・竜丘分館】

水曜日：午後 1時～5時
土曜日：午前10時～午後 5時
日曜日：午後 1時～5時

【三穂分館】

水曜日：午前 9時30分～11時30分
午後 3時～5時
土曜日：午前10時～午後 5時

【山本分館】

水曜日：午後 1時～5時
※第1・3のみ午前10～12時も開館
土曜日：午前 9時～午後5時
日曜日：午後 1時～5時

【羽場・丸山・東野・座光寺・下久堅

上久堅・千代・龍江・川路分館】

水曜日：午後 1時～5時 (川路は2時～・千代は2時30分～)
土曜日：午前10時～午後 5時

【上村分館】

月～金曜日：午後 3時～5時
土曜日：第2・4 午前10時～午後 4時

【南信濃分館】

月～金曜日：午後 3時～5時
土曜日：午前10時～12時

(平成24年3月31日現在)

6 予 算

(1) 当初予算

(単位：千円)

内 訳	平成24年度当初	平成23年度当初	比 較
飯田市予算総額	42,419,000	42,430,000	△ 11,000
10款 教育費	3,801,151	3,805,501	△ 4,350
5項 社会教育費	1,530,352	1,256,357	273,995
1目 社会教育総務費	215,624	12,325	203,299
2目 青少年健全育成費	2,880	3,004	△ 124
3目 文化財保護費	120,774	61,829	58,945
4目 公民館費	333,477	319,801	13,676
5目 図書館費	210,367	232,690	△ 22,323
6目 美術博物館費	269,766	295,393	△ 25,627
7目 文化会館費	289,489	250,762	38,727
8目 歴史研究所費	87,975	80,553	7,422

(2) 平成23年度決算額一覧

(款)10 教育費 (項)05 社会教育費 (目)05 図書館費 ※人件費を除く (単位:円)

細々目	細 節	中央	県	上 郷	分 館	計	22年度決算	前年度対比
図 書 購 入 費	消耗図書費	17,778,358	3,544,699	7,298,688	7,538,265	36,160,010	40,081,796	△ 3,921,786
	備品図書費	679,683				679,683	3,708,596	△ 3,028,913
図 書 館 管 理 運 営 費	臨時職員賃金	21,855,475				21,855,475	21,964,073	△ 108,598
	消耗品費	2,137,686	219,155	349,994		2,706,835	3,225,932	△ 519,097
	燃料費	191,641	55,795	58,748	150,553	456,737	468,268	△ 11,531
	印刷製本費	86,080			164,422	250,502	248,115	2,387
	光熱水費	4,572,081	389,566	1,499,402	353,701	6,814,750	6,927,274	△ 112,524
	修繕費	118,237	65,940	146,872	52,500	383,549	720,559	△ 337,010
	通信運搬費	1,677,961	110,596	155,184	42,700	1,986,441	1,925,650	60,791
	手数料	315,000				315,000	320,200	△ 5,200
	保険料	162,930				162,930	209,034	△ 46,104
	委託料	35,921,574				35,921,574	21,063,126	14,858,448
	使用料 及び賃借料	1,608,703	18,448	224,191	16,380	1,867,722	1,705,715	162,007
	工事請負費	1,367,200	197,285	900,270	936,600	3,401,355		
	備品購入費	648,260				648,260	77,700	570,560
	負担金 (上郷駐車場)			205,200		205,200	228,000	△ 22,800
	公課費	15,200				15,200	27,600	△ 12,400
図 書 館 事 業 費	委員等報酬	421,400				421,400	391,250	30,150
	賃 金	1,853,310	392,275	392,530	14,831,646	17,469,761	17,186,103	283,658
	報償費	349,999				349,999	379,444	△ 29,445
	旅 費	149,672				149,672	133,320	16,352
	保険料 (ボランティア)	23,800				23,800	24,080	△ 280
	負担金 補助及び交付金	70,700				70,700	70,700	0
コンピュータシステム運営事業費	6,769,200				6,769,200	2,200,875	4,568,325	
はじめまして絵本事業費	860,075				860,075	820,785	39,290	
ビジネス支援事業費	494,026				494,026	484,107	9,919	
施設改修事業費	0				0	91,804,650	△ 91,804,650	
計		100,128,251	4,993,759	11,231,079	24,086,767	140,439,856	216,396,952	△ 75,957,096

【22年度】緊急雇用創出事業(郷土資料保存事業)5,264,700円
重点分野雇用創出事業(分館蔵書データ化事業)8,771,406円
住民に光をそそぐ交付金(図書購入)4,000,000円
地域活性化・経済危機対策臨時交付金(21年度繰越明許:中央館耐震補強工事)66,150,000円

【23年度】緊急雇用創出事業(郷土資料保存事業)7,965,000円
重点分野雇用創造事業(分館蔵書データ化事業)21,216,825円

7 図書館貴重資料など

(1) マイクロフィルム

資料名	巻数	資料名	巻数
南信新聞	112巻	第1線他	1巻
合同新聞	10巻	平沢文書	27巻
南信州 ～H22.12	220巻	飯田市広報他	1巻
伊那公報	71巻	下伊那青年他	1巻
信濃大衆新聞	15巻	信州青年他	1巻
信濃時事新聞	20巻	飯田通信	1巻
信州日報 ～H22.12	165巻	竜丘時報	1巻
南信日報	23巻	青年史資料 18 地区	71巻
南信タイムズ	2巻	青年運動資料 (金箱)	8巻
飯田日日新聞他	1巻	伊藤大八資料	11巻
週刊下伊那	2巻	上郷青年会資料	2巻
飯田ニュース	3巻	上郷時報	4巻
飯田毎日	4巻	信濃大衆新聞	3巻
飯田の新聞	8巻	その他新聞	5巻
信州音楽新聞他	1巻	飯田文書	13巻
南信時事	11巻	郷土雑誌	5巻
信揚新聞	3巻	※上郷青年団資料	38巻
新信州日報	1巻	※下伊那連合青年団資料	23巻
南信毎日新聞	1巻		
飯田町小史他	1巻	平成 23 年度末累計	880巻

※…平成 23 年度に新たに作製したもの

(2) デジタル資料

資料名		
郷土新聞「南信州新聞」	昭 29～平 22. 12	(H21～H23 年度作成)
〃 「信州日報」(「南信日報」含)	昭 23. 6～平 22. 12	(H22～H23 年度作成)
〃 「新信州日報」	昭 20. 11～昭 22. 9	(H22～H23 年度作成)
郷土雑誌「あけぼの」他	154 件	(H22～H23 年度作成)

(3) 特殊コレクション

古文書・文庫・特殊資料

堀家所蔵古書	1,330 点 (7,882 冊)	村沢文庫	1,043 点
市岡家所蔵古書	178 点	河竹文庫	71 冊
〃 文書	1,004 点	平沢文書	3,800 点 (歴研)
〃 標本	6 点	飯田文庫	243 点
〃 軸物	6 点	竹村浪の人文庫	1,222 冊
日夏耿之介文庫	9,940 冊	古島文庫	757 刷
日下部文庫	2,207 冊	宮沢文庫	1,283 冊

※平沢文書については歴史研究所に移管 マイクロフィルムのみ保管

南信新聞・信州合同新聞 (明治 35.1.1～昭和 17.4.30)・信濃時事・信濃大衆新聞・森本資料・伊藤大八関係資料・平沢文庫・小林郊人文庫・正木文庫・横田文子資料・下伊那青年運動史関係資料・木下農業関係資料・筒井文庫・木地師資料・富岡鉄斎資料・「飯田市立中央図書館漢籍目録」資料・松尾亨庵史料・小林正之文庫・沢柳文庫など

〈飯田市立図書館の特殊コレクション解説〉

① 堀家所蔵古書

明治 34 年、飯田文庫が飯田藩主堀氏所蔵の和漢書を購入し、飯田図書館の基礎がつけられた。儒教、国史、中国史等がある。その後飯田図書館で収集した貴重資料、太宰春台の著書等も含まれている。和書については国書総目録（岩波書店刊）に掲載されているため、遠方からの利用者が多い。

② 市岡家所蔵古書

昭和 25 年、三重県津市 市岡勝太郎氏より飯田関係文書を委託され保管する。江戸時代の伊那谷三代官の一人であった市岡氏は、製糸、元結業の創始者であり、千村役所に勤めた。久々里旅日記や「雲彩寺所蔵古物之図」（写真のみ）等、博物関係の原資料がある。

③ 村沢文庫

飯田市中央通り村沢武夫氏が、昭和 50 年代から亡くなるまで寄贈し続けた郷土資料類である。「伊那歌道史」の原資料となった歌人の短冊や、飯田藩の資料は貴重である

④ 平沢文書(H15.7 飯田市美術博物館へ移管 H16.3 県宝に指定後歴史研究所へ移管)

飯田市下久堅北原の庄屋平沢家に所蔵されていた近世文書である。昭和 43 年 10 月平沢清人氏から寄贈された。太閤朱印検地帳等地方文書として全国的にも、系統づけられている文書として貴重である。

⑤ 飯田文書

飯田町、上飯田村（上飯田村の地図）の近世文書。元和～慶応までの文書で「宿継要書留」等が含まれている。

⑥ 森本資料

飯田市松尾新井の森本信也氏から昭和 51 年に寄贈された資料。大正、昭和にかけて国民精神作興会の下伊那支部の事務局をしていた森本州平氏が持っていた全国及び伊那谷の政治活動資料で、伊那谷の近代史をひもとく貴重な資料である。

⑦ 日夏文庫

飯田市名誉市民 日夏耿之介氏の所蔵されていた図書。日夏氏没後、昭和 56 年に図書館に移管された。洋書、和漢籍・雑誌・詩を中心に文学のものが多。

⑧ 伊藤大八関係資料

飯田市伊賀良上殿岡出身の伊藤大八に送られた明治時代の政治家の手紙類。伊藤大八は、第 1 回衆議院選挙に自由党に属して当選。党の幹部として活躍した。中江兆民、原 敬等の直筆の手紙がある。

⑨ 青年運動史関係資料

昭和 34 年「下伊那青年運動史」が発行され、その原資料となった各青年団の会報等が発行と同時に寄贈された。

⑩ 鉄斎資料

飯田鉄斎愛好会から平成 2 年に寄贈された資料。図書、書、画、拓本がある。

⑪ 宮沢文庫

飯田へ大学を設立したいという希望を抱いていた、生田村出身の宮沢芳重さんが送り続けてきた図書、雑誌、哲学・数学・天文の図書。

⑫ 竹村浪の人文庫

講師竹村浪の人が使っていた図書類と講談の台本（生原稿）641 冊。一般書 581 冊

⑬ 木下農業関係資料

飯田市高羽町木下誠氏から昭和 57 年に寄贈された農業関係資料。農業に関する県内で発行された農業雑誌、特に園芸に関するものが多。

⑭ 日下部文庫【上郷図書館所蔵】

郷土史家日下部新一氏が所蔵していた図書と資料で、遺族から寄贈された。資料は主として著作活動のために収集したものと思われ、スクラップ帳・生原稿を含む。生前寄贈された郷土雑誌も多数。

⑮ 松澤太郎文庫

平成 20 年 4 月に寄贈された元市長松澤太郎氏の蔵書約 2,200 冊（雑誌含む）。河上肇全集、會津八一の全集と貴重な画集、夏目漱石及び森鴎外の全集など幅広い資料。

⑯ 高原日記コレクション【伊賀良学習交流センター所蔵】

平成 20 年に寄贈された飯田市山本在住ジャーナリスト故高原富保氏の蔵書 704 冊。すべて作家等の日記のみを集めたコレクション。

⑰ 松尾亨庵史料

昭和 63（1988）年に龍江の松尾家より飯田市立図書館に寄託された、松尾亨庵関係史料。内容は、医学・漢学漢詩関係刊本、医学・漢学関係手稿、写本、雑書等。

⑱ 清内路煙草資料

清内路煙草を製造し販売した原澤喜之助（飯田町）関係の資料や書簡等 657 点を清内路の郷土史家桜井伴氏が収集、昭和 60 年当館に寄贈された。

⑲ 小林正之文庫【上郷図書館所蔵】

竜丘村（飯田市長野原）出身の早稲田大学名誉教授（西洋史学）小林正之氏の蔵書が没後に寄贈されたもの。歴史・社会科学分野を中心とした図書約 1,300 冊と雑誌約 1,200 冊。



「地図あれこれ」展 （中央図書館）
—中央図書館所蔵 古地図から現代の地図まで—
(伊能図から小字図等の地図資料)



堀家所蔵古書『三国通覽輿地路程全図』林子平著

8 利用状況

(1) 貸出年度別統計

(単位 冊)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
中央	349,536	369,264	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438	372,118	424,076
鼎	93,912	96,848	98,510	102,734	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338	139,959	132,310
上郷	131,737	142,238	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,060	170,366	152,173
羽場	13,150	15,228	19,792	20,699	18,154	16,714	17,577	18,918	16,398	14,170	13,540
丸山	6,239	7,151	6,809	7,326	8,480	8,761	8,201	7,350	5,868	5,520	5,143
東野	12,119	11,434	10,427	9,551	10,065	10,343	9,810	11,531	10,417	10,255	9,067
座光寺	7,791	7,956	8,921	8,425	7,886	7,884	7,099	6,624	7,258	8,157	7,782
松尾	19,276	23,168	23,397	22,795	20,422	19,291	18,909	19,505	18,957	17,559	16,438
下久堅	11,403	14,561	14,998	16,050	13,531	13,766	15,772	15,944	15,827	15,713	15,487
上久堅	2,452	2,786	2,473	4,381	3,557	6,526	6,591	4,559	4,850	5,174	3,094
千代	3,345	4,059	3,316	3,318	4,847	7,728	6,619	6,097	6,824	6,125	5,289
龍江	6,322	11,273	11,800	11,013	11,397	10,449	8,851	9,447	8,766	9,428	8,261
竜丘	28,394	29,091	30,362	31,511	30,223	29,428	31,483	30,409	33,200	29,871	29,150
川路	5,919	5,533	7,017	7,270	6,596	7,487	6,945	6,666	6,313	6,445	6,152
三穂	6,405	8,659	8,965	8,831	9,755	10,485	10,684	10,599	8,985	9,340	8,092
山本	11,498	13,992	12,432	9,518	9,403	11,051	11,511	12,471	12,273	11,151	9,307
伊賀良	22,374	24,136	23,269	23,478	24,074	37,884	40,420	46,459	42,474	37,926	38,388
上村						971	1,160	886	1,146	1,545	1,131
南信濃						2,188	5,363	4,853	3,788	3,677	3,546
計	731,872	787,377	805,535	815,396	818,935	860,165	869,970	907,393	930,180	874,499	888,426

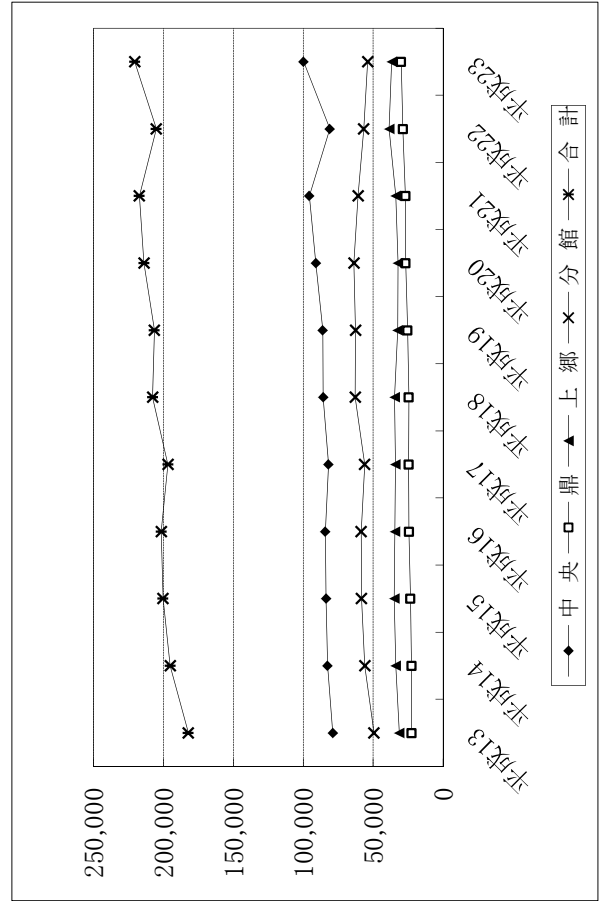
(2) 飯田市立図書館利用者(貸出者)数推移

	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	前年比	5年前比
中央	78,917	82,675	83,671	84,223	81,942	85,787	86,065	91,024	95,748	81,009	99,865	123.3%	116.4%
県	22,561	22,594	23,320	24,361	24,639	24,462	25,364	26,836	26,906	28,720	30,019	104.5%	122.7%
上郷	31,356	33,942	34,935	34,425	34,108	34,684	32,560	32,342	33,922	38,576	36,804	95.4%	106.1%
分館	49,419	55,975	58,387	58,637	56,096	62,908	62,572	63,746	60,739	56,826	53,932	94.9%	85.7%
合計	182,253	195,186	200,313	201,646	196,785	207,841	206,561	213,948	217,315	205,131	220,620	107.6%	106.1%

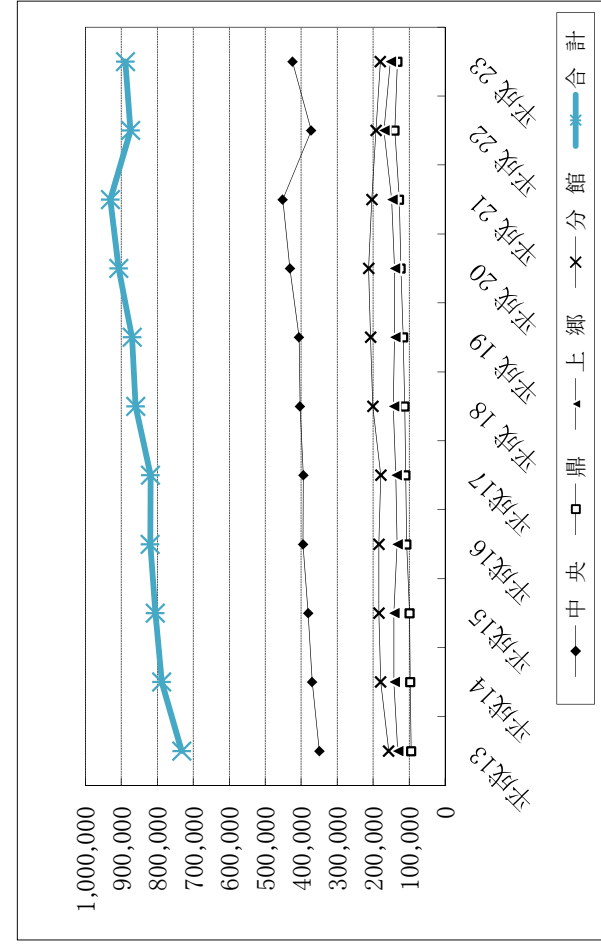
(3) 飯田市立図書館貸出冊数推移

	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	前年比	5年前比
中央	349,536	369,264	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438	372,118	424,076	114.0%	105.2%
県	93,912	96,848	98,510	106,791	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338	139,959	132,310	94.5%	117.9%
上郷	131,737	142,238	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,242	170,366	152,173	89.3%	105.8%
分館	156,687	179,027	183,978	184,166	178,390	200,956	206,995	212,318	203,344	192,056	179,867	93.7%	89.5%
合計	731,872	787,377	805,535	819,453	818,935	860,165	869,970	907,393	930,362	874,499	888,426	101.6%	103.3%

貸出者数の推移



貸出冊数の推移



(4) 平成 23 年度 利用が多かった本ベスト 10

	一般書	郷土資料	児童書	絵本
1	『謎解きはディナーのあとで』 東川 篤哉／著	『飯田城ガイドブック』 飯田市美術博物館／編	『ミッケ！』シリーズ ウォルター・ウィック／作	『がたんごとん がたんごとん』 安西 水丸／作
2	『1Q84 ①②③』 村上 春樹／著	『知恵の樹を育てる, 信州上郷図書館物語』 是枝 英子／著	『かいけつゾロリ』シリーズ 原 ゆたか／作	『ころころころ』 元永 定正／作
3	『麒麟の翼』 東野 圭吾／著	『鼎町誌』 鼎町誌編纂委員会／編	『番ねずみのヤカちゃん』 リチャード・ウィルバー／作	『くだもの』 平山 和子／作
4	『聖女の救済』 東野 圭吾／著	『鼎町史(上・下)』 鼎町史編纂委員会／編	『エルマーのぼうけん』 シリーズ ルース・スタイルス・ガネット／作	『おにぎり』 平山 和子／絵
5	『真夏の方程式』 東野 圭吾／著	『飯田市の70年』 伊那史学会／編	『たんたのたんけん』 中川 李枝子／作	『わたしのワンピース』 にしまき かやこ／作
6	『プラチナデータ』 東野 圭吾／著	『戦国武田の城』 中田 正光／著	『はじめてのキャンプ』 林 明子／作	『めっきらもつきら どおんどん』 降矢 なな／絵
7	『新参者』 東野 圭吾／著	『いいだ・南信州大好き』 安藤 隆一／編著	『新ウォーリーをさがせ！』 マーティン・ハンドフォード／作	『どうぶつのおかあさん』 藪内 正幸／絵
8	『神様のカルテ①②』 夏川 草介／著	『下伊那20世紀年表』 小田切 裕久・他／編	『ロボット・カミイ』 古田 足日／作	『ぼんだいすき』 ふくしま あきえ／絵
9	『小暮写真館』 宮部 みゆき／著	『みるよむまなぶ飯田・ 下伊那の歴史』 飯田市歴史研究所／編	『にっこりおいしい大作戦』 あんびる やすこ／作	『かいじゅうたちの いるところ』 モーリス・センダック／作
10	『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーのマネジメントを読んだら』 岩崎 夏海／著	『写真が語る上郷の百年』 上郷の百年編集委員会／編	『若おかみは小学生！』 シリーズ 令丈 ヒロ子／作	『きゅつきゅつきゅつ』 林 明子／作

(5) 利用統計数値

中央・県・上郷・16分館含む

基礎数値（平成24年3月末日現在）

A:人口	104,291	B:蔵書冊数	719,176	C:受入冊数	30,908
D:購入冊数	26,642	E:個人貸出冊数	845,016	F:除籍冊数	59,542
G:図書購入費	37,264,224	H:図書館費	140,439,856	I:利用者数	220,620
J:開架図書冊数	456,114	K:登録者数	27,431	L:全館総貸出数	888,426
M:全予約件数	45,208				

中央・県・上郷（3館のみ）

N:予約件数	41,146	O:調査相談数	5,310	P:複写サービス	21,424
Q:職員数	25	R:司書有資格者数	22	S:3館総貸出数	708,559

開館日数（中央図書館284日 県図書館279日 上郷図書館278日 分館平均133日）

項目		23年度	22年度	22年度全国平均
市民一人あたり蔵書冊数	B/A	6.9冊	7.2冊	3.5冊
〃 受入冊数	C/A	0.3冊	0.4冊	0.1冊
〃 貸出冊数	E/A	8.1冊	7.9冊	6.1冊
〃 図書購入費	G/A	357円	418円	225円
利用者一人1回あたりの貸出冊数	E/I	3.8冊	4.0冊	
職員一人あたりの貸出冊数	S/Q	28,342冊	27,298冊	
蔵書回転率	L/B	123.5%	115.6%	
開架率	J/B	63.4%	66.5%	
利用者登録率	K/A	20.8%	28.9%	
司書率	R/Q	88.0%	88.0%	

◆サービス効果

平成23年度購入図書平均単価×市民一人あたり貸出冊数－市民一人あたり図書館費

$$\begin{array}{rclclcl}
 G/D & \times & E/A & - & H/A & = & \text{サービス効果} \\
 1,399 \text{円} & \times & 8.1 \text{冊} & - & 1,347 \text{円} & = & 9,984 \text{円}
 \end{array}$$

9 図書館関係団体

「飯伊婦人文庫」（会員数 150 人）

◆飯伊婦人文庫の歴史

昭和 25 年、県立図書館が館外貸出方式の一つとして始めた、本と母親とを子どもを通じて結ぶ制度は、その後県下各地に県 P T A 母親文庫として広がっていった。県南部の飯田下伊那地方においても、昭和 32 年飯田図書館配本所とし、婦人会と P T A の母親を中心に『飯田婦人文庫』・『飯伊母親文庫』の二つの団体が組織され正式に発足した。昭和 46 年 P T A 組織では子どもの卒業とともに会員も離れていってしまうことと、自主的参加による読書会を充実していきたいとの理由から、婦人会を中心とした組織の一本化をはかり、名称も『飯伊婦人文庫』となった。

読書は基本的には個人的な行為であるが、集団だから読める、みんなと一緒に学べるといった

環境づくりをめざして、今日まで多くの活動と会員の育成を行ってきた。

◆飯伊婦人文庫の活動

昭和 32 年の発足当時より 3 本の柱を活動の中心に据えてきた。3 本の柱とは『読むこと』、『書くこと』、『話し合うこと』である。この成果は毎年発行される『読書についての文集』や、各種読書会、他団体（豊橋読書サークル連絡会・中津川読書サークル連絡協議会など）との活発な交流などに現れている。これらの活動が評価され平成 4 年には飯田ムトス賞を、平成 10 年には野間読書推進賞を受賞した。

平成 9 年に出版した『みんなで読もう飯伊婦人文庫 40 年の歴史』は、婦人文庫の歩んできた道を多くの資料をもとにまとめてあり、飯田図書館の図書館史にもなっている。14 年 2 月には『つながり一聞き書き・70 人の女性に聞く読書と人生一』を出版し、人の一生と読書の関係を聞き書きによりまとめることで、多くの読書の科学を獲得した。この出版の波及は高齢者学級や中学生との交流に発展した。これらの活動が図書館まつりの『中学生との読書会』に結実し、『高校生との読書会』へと発展していった。その後、働く市民のための『夜の読書会』に発展して、20 代～40 代男女の参加者が増え続けている。ここから歴史上初めての男性会員が誕生した。

飯田下伊那の各地で連綿と続けられてきた読書会を丹念に聞き書きし、3 人以上で読む読書会が人と人のつながりをより深め、質の高い感動を受け取り、それが生きる糧となってきたことを実証したのが平成 19 年 6 月に出版した『みんなとだから読めた～聞き書きによる飯田下伊那地方の読書会の歴史～』である。本をまとめる中で、声に出してみんなで読む「群読」の持つ意味を言葉化し、文学講座や中学校・公民館など様々な場で「群読」を取り入れながら、広めている。この本は読書界に大きな波紋を投げかけ、飯田市歴史研究所の歴研賞奨励賞を受賞した。平成 19 年に飯田下伊那読書会交流会が 50 年ぶりが開催され、飯田下伊那読書会連絡会に発展して、現在の活動に至っている。

婦人文庫会員と市民の中に大人の文学に対する要求が高まったのを受けて、図書館と開催する文学連続講座は 5 年目になった。市民の要望に応じて内容を充実させ、年々、市民の参加が増えている。婦人文庫は、「読みつづけることが、生きることだ」をキーワードに読書推進につとめている。

朗読奉仕の会「声の輪」 (会員数 68 人)

視覚障がい者など読書に困難がある方々のための、書籍を録音した「声の本」を作成しているボランティアグループ。昭和 57 年より朗読奉仕ボランティアが中央図書館に立ち上がった。一年間の初心者講習を終了した後、朗読ボランティアとして続けていただける方に随時加わっていただく。飯田下伊那には約 1,000 人の視覚障害者がおり、内約 100 人の方が「声の本」を利用している。その方々の期待に応えるべく、平成 23 年から DAISY (ディジー) 図書 (CD 版) の作成を中心に以下の活動を行っている。

「声の本」の作成：〔DAISY 図書・テープ図書、の作成。年間約 200 タイトルの作品を作成し現在までに 2,818 タイトルを超えている。DAISY 図書も平成 11 年より取り組みが始められ、現在までに 571 余タイトルが出来上がっている。〕

月刊テープの作成と貸出：〔視覚障害者と会員との情報交換誌として毎月「声の輪だより」の CD 版及びテープ (46 分 1 巻) 版を作成し、約 70 人の方に郵送による貸出を行っている。〕

利用者との交流会：〔利用者との意見交換会と相互親睦をはかるための交流忘年会を毎年開催している〕。

朗読技術向上：(定例学習会 (毎月第 4 水曜日、第 2 火曜日) の実施と NHK セミナーへの参加と、常に技術向上のための取り組みを行っている。)

質の高い声の本の作成と提供は、声の輪の方々の技術向上へのたゆまぬ努力と、リクエストに対する迅速な対応によって支えられている。また、単に読み手と聞き手の関係だけではなく、視覚障害者の方々の心の支えとなっている。図書館障害者サービスを 30 年以上にわたり支えてきた声の輪は、飯田市立図書館が県下に誇れるボランティアグループである。

「文章講座同窓会」 (会員数 同窓会 73 人)

文章講座は、「文章を書くことと読書することとは深いつながりがある。読みを深めるには書くことは欠かせない。また文章を綴るには多くの本を読むことにもなる。読書会があるのだから文章を書く勉強会も必要ではないか」とのかねてからの願いから、“書くことの勉強会”として昭和 57 年 1 月開講した。

まず、第 1 期は新聞社の論説委員をしていた小原謙一氏を講師に迎え、文章についての講義及び作文の添削を中心に行われた。百余名の受講生は毎回レポートを提出し、講師の添削・講評を受け、さらに受講生の作文の中から講義のテキストとして取りあげた作品が地元紙に掲載されるなど活動が定着していった。受講者数も今までに 900 名を超えている。平成 9 年の第 16 期より元旭ヶ丘中学校校長の清水貫司氏を講師に迎え、現在第 30 期として活動中である。

この文章講座受講者は、講座終了後も各期ごと自主的なグループをつくり、書くことの相互学習を続けている。このグループをまとめたものを同窓会といい、この同窓会が主体的に取り組んで編集・発行している作品集として『くらしの中から』がある。

「子どもの本研究会」 (会員数 22 人)

昭和 45 年から東京、大阪で開催された「日本子どもの本研究会」主催の全国児童文化講座がきっかけとなり、子どもの読書への取り組みに触発された当時の図書館職員が中心となって、学校の読書教育担当者などの協力を得て 47 年 7 月に発会された。当時会費 30 円で会の名称も「飯田子どもの本研究会」とし、学校や保育園・幼稚園の先生、母親など 60 名の会員によってスタートした。読書についての横のつながりができたのはこの時が初めてで、当時としては画期的なことであった。

子どもに本を手渡したいとの思いは、各地に文庫の設立をうながすきっかけとなり、その後、23 もの文庫が市内にできた。文庫の活動はやがて図書館の分館整備の動きへとつながっていった。

また、作品研究、作家研究はやがて作家本人から話を聞いてみたいという欲求を生み、子どもたちが本と出会うにはまず周りの大人が本の素晴らしさを知ることが大切、との意図から「子どもの本の学校」が図書館・子どもの本研究会・地域文庫連絡会共催で開設された。

地域の児童文化にも貢献してきた。子どものための総合文化祭をとの願いから、「飯田子ども劇場」や市の社会教育課とともに立ち上げた「飯田子どもまつり」は、現在まで 30 回以上、回数を重ねながら続けられている。

現在も、会員の自ら学ぶ姿勢と子どもの本に対する会員相互の取り組みは意欲的で変わっていない。その時代時代の中で、地域の読書文化を向上させようと図書館とともに歩んできた。それらの活動は外部からも高く評価され、15 年 4 月には文部科学大臣賞を受賞し、会員相互の大きな励みとなった。

さらに、平成 11 年 5 月より新たな一歩として、会員有志により読みきかせのボランティア活動を開始し、そのための勉強会も行なっていたが、平成 22 年からボランティア活動グループは独自性を重視して独立して活動することとなった。また、一年間の活動記録としての文集を継続的に刊行している。そして子どもの本についての講演会を会独自で年に数回開催したりするなど、会の活動の充実や地域の読書文化の普及に努めている。

「読みきかせボランティアの会」 (会員数 9 グループ 105 人)

平成 13・14 年度の 2 回、図書館の事業で読みきかせボランティア養成のための講習会を行った。その後平成 15 年 7 月に図書館の呼びかけにより、市内で読みきかせボランティア活動を行っているグループと講習会の受講者が立ち上げたグループとで「読みきかせボランティアの会」を発足した。子どもと一緒に絵本の世界を楽しみたい、子どもと本との橋渡しのお手伝いをしたいと願う読みきかせボランティアグループの集まりであるこの会は、他グループとの情報交換をしたり、研修会を行ったりしている。現在の登録グループは、「読みきかせグループ おはなしのたまご」「下久堅おはなしサークル」「まじっくぽけっと」「丸山おはなしの会」「モン・クール」「おはなしくらぶ おおきな木」「はっぴい・ぷれぜんと」「松尾小学校 読書ボランティア おはなしひろば」「たんぽぽの会」の 9 グループである。

なお図書館では、ひとりでも多くの子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうために、この会に登録しているボランティアグループのリストを作成し、要請に応じて紹介している。

「鼎声のボランティアグループ」 (会員数 15 名)

視覚障がいのある方々に聞いていただくため、「新聞コラム」(一週間分の新聞記事より抜粋)、飯田市議会だより、広報かなえ・公民館報かなえ、社協情報「おマメで」を録音しているボランティアグループ。平成 24 年 4 月現在、利用者数 13 名。

昭和 56 年、国際障害者年を契機に鼎町が募集して声のボランティアグループが発足、飯田市との合併を機に、鼎町図書館を拠点に活動を行うようになった。当初は飯田下伊那の史跡を訪ねる「史跡めぐり」を行い、その記録を図書にしたものをテープに録音して鼎地区内の視覚障がい者の方に郵送していたが、利用者の方の要望等により、現在は上記の録音を行っている。録音のほか、利用者の方との交流会、技術向上のための研修会、デジタル録音の研修会等を行っている。

「おむすびの会」(手づくり絵本の会) (会員数 17 人)

1981 年(昭和 56 年)夏、我が子の成長記録やつぶやきを書きとめておきたい、また自分自身の絵本を作りたい…との願いから、母親たちが図書館の協力を得て「飯田手づくり絵本の会」を立ち上げた。10 年後に心を込めてにぎるぬくもりあるおむすびにあやかって、「おむすびの会」と名称を変えた。

県内各地の手づくり絵本の会が、共に成長することを願い、横のつながりを持とうと長野県内連絡会を発足させ、その後愛知県、岐阜県へと広がり、現在では 19 の手づくり絵本の会が三県連絡会として活動している。その大きな事業の一つである「手づくり絵本巡回展」も 25 回を数え、今年も 15 会場に 200 冊以上の手作り絵本が展示される。一冊一冊手にとって読むことのできる巡回展は、手づくり絵本に直に触れてもらう大変良い機会である。

また、各地区の乳幼児・母親・高齢者学級や、小・中・高校などでも、手づくり絵本の普及に努めている。製本の方法や、表現の技法、作るための心構えやテーマの持ち方など指導に出向くことが増えている。もっと多くの人たちに世界に一冊だけの手づくり絵本の良さを知ってもらいたいと活動している。今後も子どものため、自分自身のために手づくり絵本を作りたいという方々の輪を広げていきたい。

「紅まんさく」(飯田創作童話の会) (会員数 11 人)

1983 年(昭和 58 年)3 月に中央図書館の講座の一つとして発足した創作童話研究会が当会の前身である。その当時開講されていた「子どもの本の学校」(著名童話作家の講演・講義)で学ぶと共に、自分でも童話を書いてみたいと希望する 80 人余が集まり始められた。

しかし、回を重ねるごとに書くことの難しさから、40 人・・20 人・・と減少し、自主運営するころには 15 人ほどになっていた。会の名称も《紅まんさく》(飯田創作童話の会)と改め、現在にいたっている。

発足後 8 年目に『紅まんさく、童話集 1』を 16 年目に『同 2』を出版した。毎月第 3 木曜日に例会を持ち、作品を発表しあっている。——作品には厳しく、人にはやさしく——をモットーとし、刺激し合いながらもよい仲間作りを実践している。

発足 27 年目にあたる平成 22 年 3 月に『紅まんさく、童話集 3』を出版した。